

FACTBOOK 2025

ファクトブック

2024年度(第59期)決算のご報告など

(2024年8月1日～2025年7月31日)



電通共済生協

電気通信産業労働者共済生活協同組合

CONTENTS

ファクトブック もくじ

01	基本組織との“協働”をより深め、 より進めて将来にわたる自家共済を堅持
02	電通共済生協の概要
03	2024年度の主な出来事
04	I 2024年度（第59期）事業概況
04	1. 経営の概況
05	2. 共済契約の概況
08	3. 財務の概況 (資産の状況・負債と純資産の状況・損益の状況・経営指標・(参考) 剰余金の処分)
13	II リスク管理・コンプライアンスの取り組み
13	1. 総合リスク管理体制
14	2. 個人情報保護について
16	3. 勧誘方針
17	4. 反社会的勢力への対応について
18	III 組織の概況および組織運営に関する事項
18	1. 運営機関と機能
19	2. 事務運営の組織(事務機構)
20	3. 役員の氏名および役職名
21	IV 主要な業務の内容
26	V 子会社の業務および財産の状況に関する事項
28	VI 支払共済金実績
32	VII 沿革
34	VIII 社会貢献活動・支援活動
35	IX 附表
35	1. 主要な業務の状況を示す指標
36	2. 直近の2事業年度における事業の指標
38	3. 直近の2事業年度における財産の状況
40	4. 経理に関する指標
41	5. 資産運用に関する指標
43	6. その他の指標
44	消費生活協同組合法施行規則にもとづく索引

端数処理について
件数、金額、構成比等の数値については、
表示単位未満を切り捨てて表示しています。

基本組織との“協働”をより深め、 より進めて将来にわたる自家共済を堅持

日頃より電通共済生協グループ（電通共済生協・ユアサポート（株））の事業運営に対しましてご理解とご協力をいただいておりますことに心より御礼申し上げます。

10月22日に開催した第86回通常総代会で新役員を選出いただき、新たに理事長に就任いたしました。前体制同様に皆様からのご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。今後の事業運営に関しましては、事業年度が8月1日からスタートしており、新体制においても前体制からの流れを継承し、第4期「中期事業計画」の初年度となる第60期およびユアサポート（株）第42期の事業目標の達成に向けて全力を挙げて取り組む決意です。

さて、今年（2025年）も残りわずかとなりました。戦後80年、昭和で換算して100年、阪神淡路大震災から30年など、何かと節目にあたる年であったかと存じます。2025年問題といわれた団塊世代がすべて後期高齢者となり、超高齢化が一層進む社会になってきています。

こうした中で、激動する国際情勢、日米関税、金融変動、物価高騰、気候変動、大規模自然災害など、不安が増幅し将来の見通しが難しい、不確実性の高い時代になっているといえます。

その一方で今年は、「国際協同組合年」として、あらためて、人間らしい働きや暮らし、包摂的社会の構築を促す協同組合への認知度を高め、重要性を訴える取り組みも行なわれました。

このような状況において、「自助・共助」の重要性は増しており、お互い助け合う「相互扶助」としての“職域共済”である電通共済生協グループの役割はますます高まっていると認識しています。

「すべては生協組合員・家族の『安心・安全』のために」を基本理念に、これまで以上に生協組合員・ご家族に寄り添う対応を心掛けていきたいと存じます。

さて、第3期「中期事業計画」の最終年度となった第59期の決算（7月末）については、事業目標で重きをおいた「元受共済掛金収入（123億円）」を大きく上回り127億円（昨年度比4億円プラス）の着地となりました。経営指標・財務状況含めて、健全・堅調に推移しており、今次決算結果については、「一定評価に値する」としたところです。

しかしながら、掛金収入増は、退職組合員の掛金収入の増と自然災害共済の制度・掛金改定に起因するものであり、加入者数・加入口数は減少傾向が続いています。とりわけ、現職組合員の任意共済加入率の低下が顕著となっています。

向こう3年間で展望した第4期「中期事業計画」では、任意共済加入率3%UPを掲げており、初年度第60期では、1%UPを目標としています。極めて高い目標値ですが、将来にわたる自家共済を堅持していくためにも、何としても達成していかなければなりません。そのためにも、基本組織との“協働”をより深め、より進めていきたいと存じます。

今般、事業概況を開示するための『FACTBOOK2025』を作成しました。ご覧いただき、私どもの事業運営に対するご理解とご指導賜れば幸いです。

2025年12月

代表理事 理事長

安藤 京一



電通共済生協の概要

名称

電気通信産業労働者共済生活協同組合（略称：電通共済生協）

設立年月日

1967年4月7日（設立記念日）

法人の根拠法

消費生活協同組合法（生協法）にもとづく法人（厚生労働大臣認可）

所在地

東京都千代田区神田淡路町二丁目101番地ワテラスタワー

主な事業内容

- ・ 共済契約の引き受け
- ・ こくみん共済 coop〈全労済〉の共済事業の一部の受託
- ・ 組合員のための組合事業に関する知識の向上をはかる事業

職域

日本電信電話株式会社、情報産業労働組合連合会、NTT労働組合
通建連合、KDDI労働組合、その他定款に定める会社・労働組合

職員数

55名（出向職員を含む。）契約職員31名 ※2025年7月末

子会社

ユアサポート株式会社



2024年度の主な出来事

2024年	8月	<ul style="list-style-type: none"> ■第59期事業年度スタート ■『2024年秋のキャンペーン』を実施 <ul style="list-style-type: none"> 生命共済〈ささえ愛〉、火災共済〈すまいる〉 自然災害共済〈おまかせ〉、交通災害共済〈しぐなる〉 マイカー共済、医療・傷害〈Myセーフティ〉を取り組む 資材発送を従来型・自宅郵送型の選択制とした
	9月	<ul style="list-style-type: none"> ■組合員Web 2025秋のキャンペーン申し込み（新規・増口）受付開始
	10月	<ul style="list-style-type: none"> ■第85回通常総代会を開催 ■第58期決算 利用分量割戻し実施——火災共済1.9億円・生命共済3.2億円
	11月	<ul style="list-style-type: none"> ■ストレステストの実施
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ■火災共済・自然災害共済の制度改定（風水害リスクの保障充実／自然災害共済の掛金見直しとタイプ名の変更） ■〈Myセーフティ〉女性医療特約の新設
2025年	1月	
	2月	<ul style="list-style-type: none"> ■支部共済担当役員研修会開催
	3月	
	4月	<ul style="list-style-type: none"> ■新入組合員加入の取り組み ■電通共済生協内の組織体制整備 ■マイカー共済の制度・掛金改定 ■自然災害共済・総支払限度額引き上げ（実施団体合計）——地震：5,750億→6,000億、風水害：850億→1,100億
	5月	
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ■「退職組合員 加入促進」の実施 <ul style="list-style-type: none"> 生命共済〈ささえ愛〉、火災共済〈すまいる〉、自然災害共済〈おまかせ〉、交通災害共済〈しぐなる〉、マイカー共済、医療・傷害〈Myセーフティ〉を取り組む
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ■2025年 秋のキャンペーンに向けたプレキャンペーン（現職組合員へのDM送付）を展開

① 経営の概況

◎ 2024年度（2024年8月～2025年7月）
の主要な事業の状況（7月末現在）

組合員数		353,355 人
うち、退職組合員		154,637 人
組合員出資金		7,260,204 千円
契約件数	元受共済※	705,361 件
受入共済掛金	元受共済	12,706,798 千円
支払共済金	元受共済	6,013,804 千円
事業経費		4,189,277 千円
経常剰余金		2,252,172 千円
総資産		49,116,455 千円

※…元受共済は、総合（慶弔）共済、火災共済、自然災害共済、生命共済、
交通災害共済の5共済を指しています。

「契約件数」の「元受共済」欄は、共済ごとにつぎの数値を合計しています。

- ・総合（慶弔）共済・火災共済・自然災害共済→契約数
- ・生命共済・交通災害共済→組合員本人の契約数

電通共済生協第59期は、第3期「中期事業計画」の最終年度としての事業目標の必達と将来にわたる「“自家共済”としての持続可能性の堅持」に向けて取り組む「次代につながる未来づくりの一年」と位置づけ、基本組織（現役組織・退職者組織）との“協働”のもとに、“One Seikyo-Group”一丸となり取り組んできました。

電通共済生協グループ（以下、生協グループ）は、職域組織の働き方や環境の変化への対応が求められる中で、最大の使命である『生協組合員・家族の安心・安全』と『基本組織の運動への貢献』を果たすため、すべての生協組合員に「相互扶助・助け合い」を基本とする“共済”の存在意義を浸透する事業を推進してきました。

元受任意共済（生命・火災・自然災害・交通災害）とマイカー共済については、現職組合員の2024年秋のキャンペーンと退職組合員の加入促進を重点に、「任意共済未加入組合員の縮減」と「契約の維持・拡大」を最大戦略に取り組みましたが、加入者数・口数の減少傾向に歯止めがかけられない状況が継続しており、Myセーフティも加入者数は増加したものの、伸長は鈍化傾向にあります。

第59期の元受共済掛金収入は、加入者数・口数の減少が継続する中で、退職組合員の生命共済掛金の増加と自然災害共済の制度改定（掛金の引上げ）が影響し、目標（123.0億円）を大きく上回る127.0億円となりました。

生協グループは、第3期「中期事業計画」および第59期における事業目標のクリアを評価しつつも、加入者数・口数の減少、とりわけ、現職組合員の任意共済加率が低下し続けていることに、強い危機感と問題認識をもつものであり、将来にわたる「“自家共済”としての持続可能性の堅持」に向けた最大の課題として、改めて基本組織と共有することが重要です。

また、元受5共済の支払共済金の累計は、60億1,380万円となりました。総合（慶弔）共済、生命共済および自然災害共済の支払いが前年同期比で減少しており、トータルでは前年同期比4億8,726万円の減少となりました。

② 共済契約の概況

2024年度末における元受5共済を合計した契約件数は705,361件、受入共済掛金は12,706,798千円、支払件数は、36,404件、支払共済金は6,013,804千円となりました。

① 全体の状況

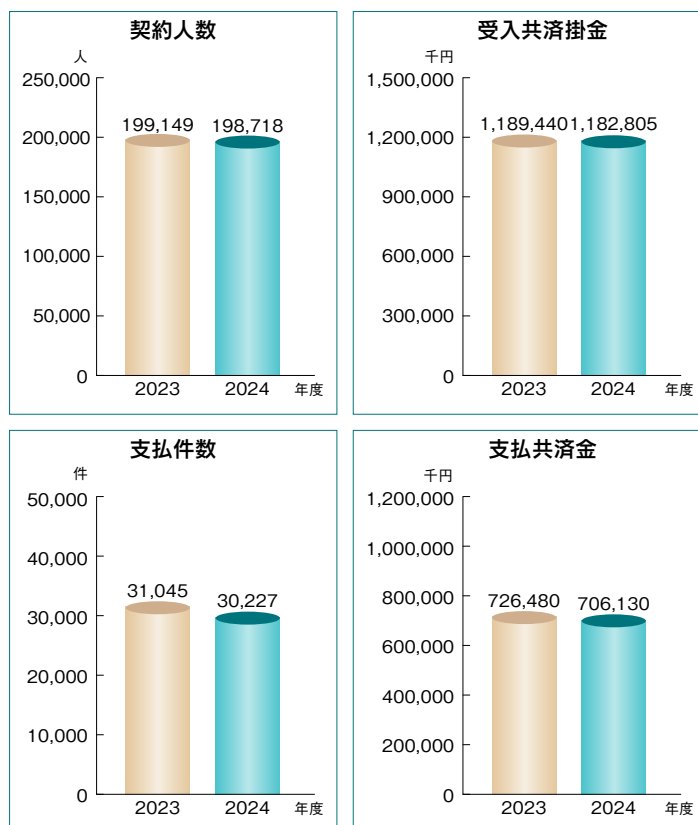
契約件数		受入共済掛金	
198,718件	総合（慶弔）共済	1,182,805千円	
139,552件	火災共済	1,939,406千円	
93,875件	自然災害共済	1,982,000千円	
121,300件	生命共済	6,826,581千円	}}
151,916件	交通災害共済	776,005千円	

生命共済と交通災害共済の契約件数は、組合員本人の契約数

支払件数		支払共済金	
30,227件	総合（慶弔）共済	706,130千円	
2,890件	火災共済	634,353千円	
1,103件	自然災害共済	304,239千円	
931件	生命共済	4,058,999千円	}}
1,253件	交通災害共済	310,081千円	

② 共済別の状況

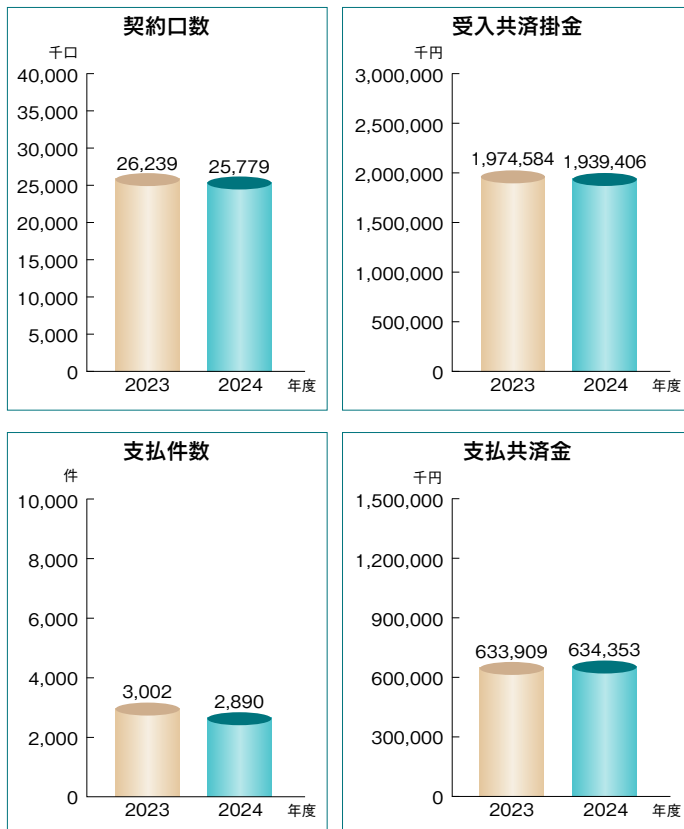
● 総合（慶弔）共済



契約人数は、前年度比で431人減の198,718人、受入共済掛金は、前年度比6,635千円減の1,182,805千円となりました。

支払共済金は、前年度比20,350千円減の706,130千円となりました。

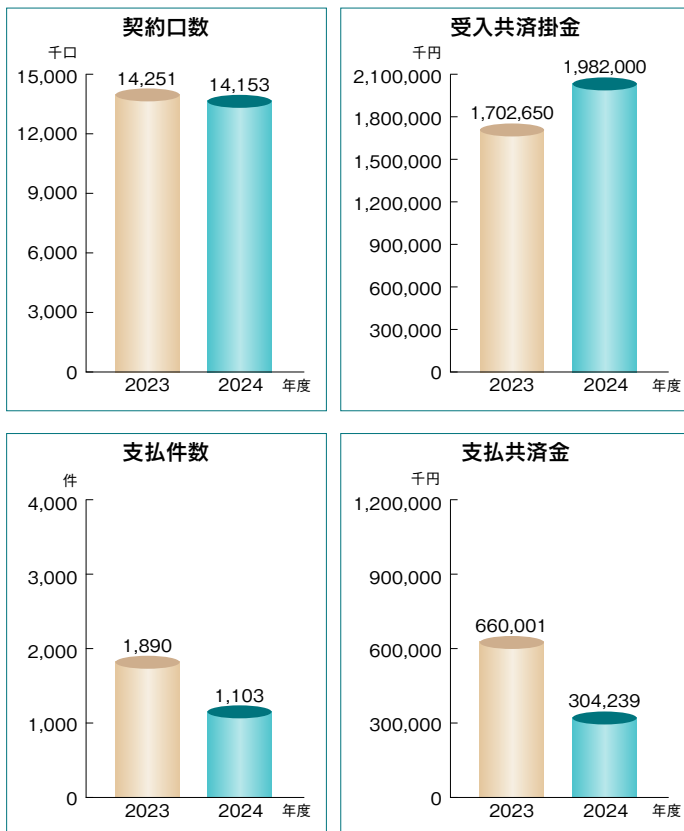
●火災共済〈すまいる〉



契約口数は、前年度比で460千口減の25,779千口、受入共済掛金は、前年度比35,177千円減の1,939,406千円となりました。

支払共済金は、前年度比444千円増の634,353千円となりました。

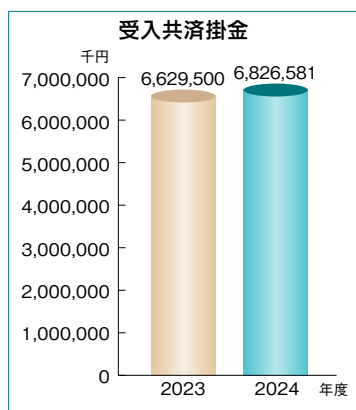
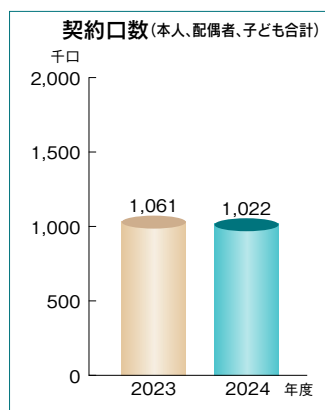
●自然災害共済〈おまかせ〉



契約口数は、前年度比で98千口減の14,153千口、受入共済掛金は、前年度比279,350千円増の1,982,000千円となりました。

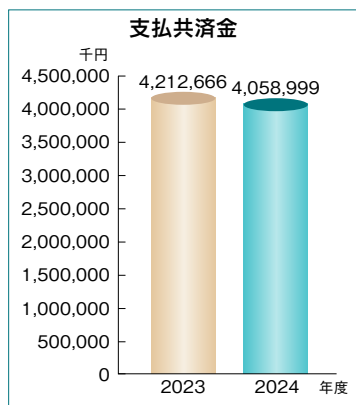
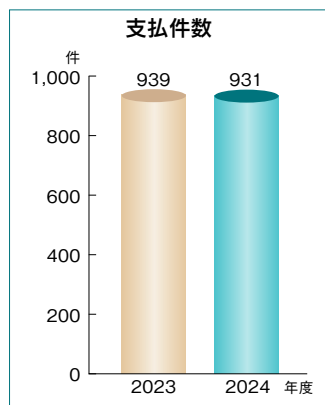
支払共済金は、前年度比355,761千円減の304,239千円となりました。

●生命共済〈ささえ愛〉

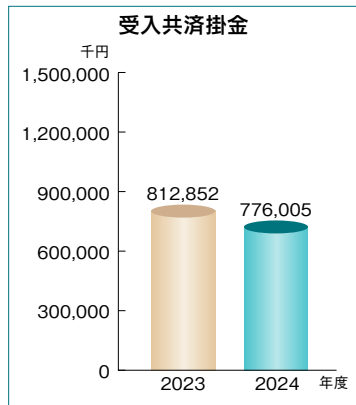
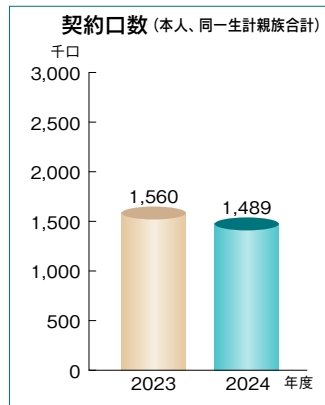


契約口数は、前年度比で39千口減の1,022千口、受入共済掛金は、前年度比197,080千円増の6,826,581千円となりました。

支払共済金は、前年度比153,666千円減の4,058,999千円となりました。

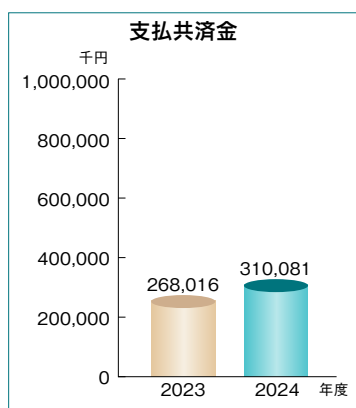
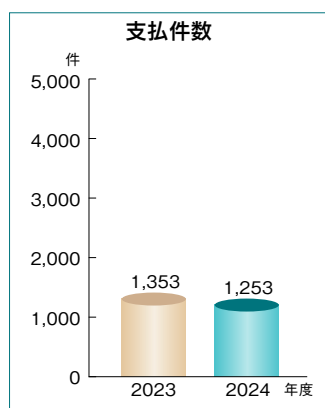


●交通災害共済〈しぐなる〉



契約口数は、前年度比で71千口減の1,489千口、受入共済掛金は、前年度比36,847千円減の776,005千円となりました。

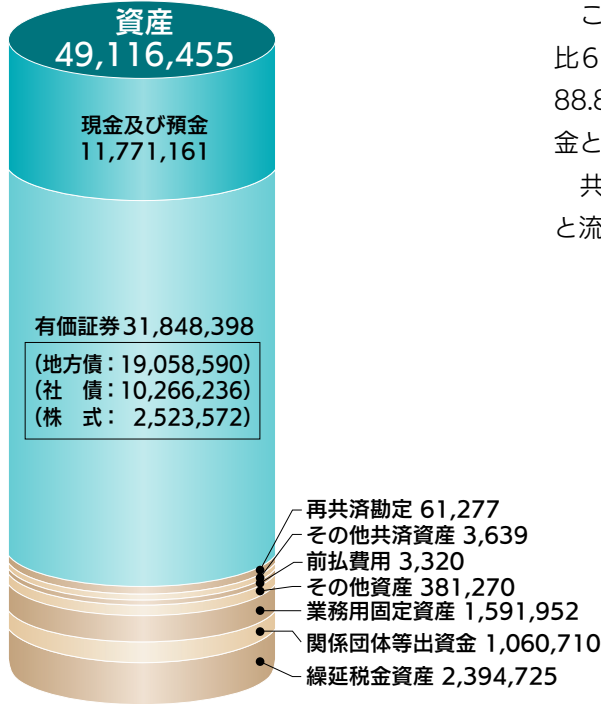
支払共済金は、前年度比42,065千円増の310,081千円となりました。



③ 財務の概況

○資産の状況

●2024年度の資産 (単位：千円)



資産総額は49,116,455千円となり、前年同期比で1,230,135千円増加しました。

このうち、運用資産（預貯金、有価証券）は前年同期比631,882千円増の43,619,345千円（資産総額の88.8%）となり、うち27.0%の11,770,947千円が預貯金となっています。

共済事業において、大規模災害発生等を考慮し安全性と流動性の確保を重視した資産配分を行なっています。

●直近5事業年度における推移

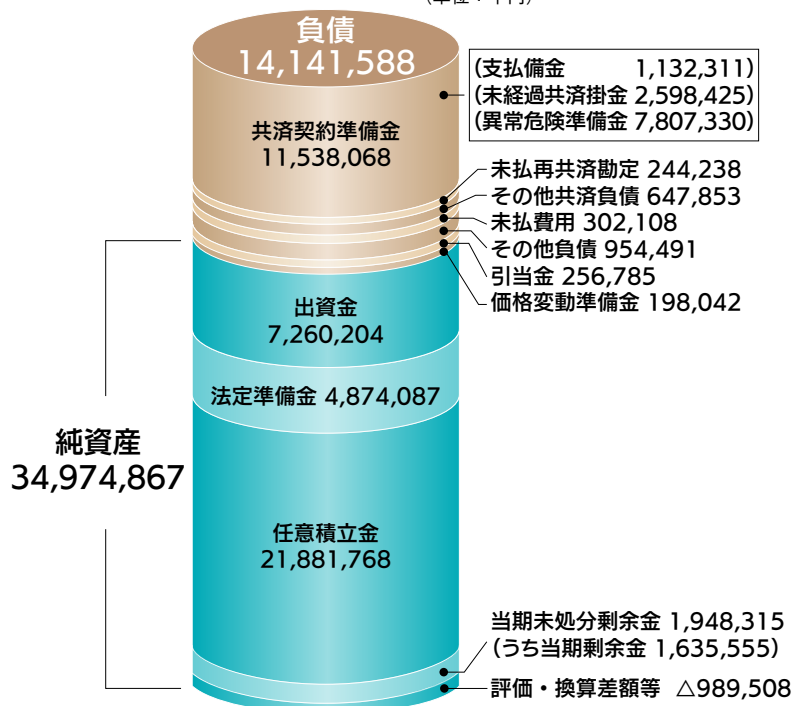
(単位：千円)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
現金及び貯金	16,578,720	14,315,893	13,050,003	11,181,405	11,771,161
有価証券	23,251,042	26,816,733	29,523,522	31,806,120	31,848,398
(国債)	2,138,130	2,116,940	803,600	400,200	—
(地方債)	11,159,640	13,026,880	16,623,530	18,936,940	19,058,590
(社債)	9,438,812	9,259,009	9,576,570	9,926,492	10,266,236
(株式)	514,460	2,413,904	2,519,822	2,542,488	2,523,572
その他	4,128,081	4,385,432	4,447,304	4,898,793	5,496,896
資産計	43,957,857	45,518,072	47,020,843	47,886,320	49,116,455

○負債と純資産の状況

●2024年度の負債と純資産

(単位：千円)



負債総額は、14,141,588千円で、前年同期比543,945千円増加しました。負債のうち、81.6%を占める共済契約準備金は、11,538,068千円で前年同期比264,906千円の増加となりました。そのうち、支払備金は、1,132,311千円で前年同期比42,538千円の減少、未経過共済掛金は、2,598,425千円で前年同期比90,771千円の減少、異常危険準備金は、7,807,330千円で前年同期比398,216千円の増加となりました。

純資産の総額は、34,974,867千円で、前年同期比686,189千円の増加となりました。そのうち組合員からの出資金は102,966千円の増加、任意積立金は691,487千円の増加となりました。

●直近5事業年度における推移

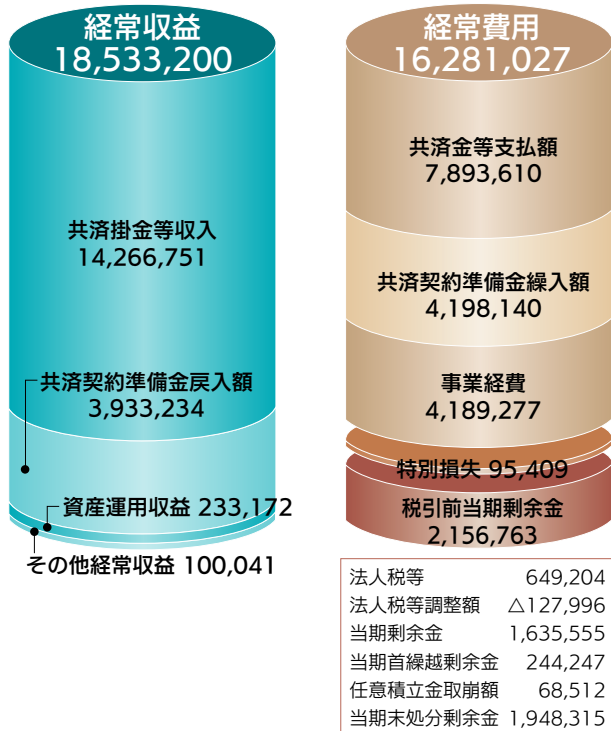
(単位：千円)

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
負債	共済契約準備金	10,897,933	10,673,266	11,149,764	11,273,161	11,538,068
	その他	1,763,358	2,410,978	2,377,352	2,324,478	2,603,520
	負債合計	12,661,294	13,084,247	13,527,119	13,597,642	14,141,588
純資産	出資金	6,458,140	6,715,474	6,802,164	7,157,237	7,260,204
	法定準備金	3,560,889	3,870,451	4,191,602	4,558,258	4,874,087
	任意積立金	19,208,362	19,700,957	20,481,886	21,190,281	21,881,768
	当期未処分剰余金	1,811,709	1,873,945	2,099,328	1,836,472	1,948,315
	評価・換算差額等	257,459	272,996	△81,258	△453,572	△989,508
	純資産合計	31,296,562	32,433,824	33,493,724	34,288,678	34,974,867
	負債・純資産の合計	43,957,857	45,518,072	47,020,843	47,886,320	49,116,455

○損益の状況

●2024年度の収益と費用

(単位：千円)



経常収益は、共済掛金等収入が前年同期比140,328千円増【うち、受入共済掛金は前年同期比397,770千円増（現職組合員：139,193千円減、退職組合員：536,964千円増）、受入再共済金は前年同期比259,010千円減】、共済契約準備金戻入額が前年同期比30,442千円増、資産運用収益が前年同期比34,912千円増となったことにより、前年同期比204,727千円増の18,533,200千円となりました。

経常費用は、支払共済金が前年同期比487,268千円減となったものの、支払再共済掛金の80,619千円増、共済契約準備金繰入額の171,952千円増、事業経費の225,206千円増により、前年同期比9,590千円減の16,281,027千円となりました。

結果、経常剰余金は前年同期比214,317千円増の2,252,172千円となり、特別損失を控除した税引前当期剰余金は前年同期比166,408千円増の2,156,763千円となりました。

法人税等を控除した当期剰余金は、1,635,555千円で、当期首繰越剰余金244,247千円および任意積立金目的取崩額68,512千円を加えた当期末処分剰余金は、前年同期比111,842千円増の1,948,315千円となりました。

●直近5事業年度における推移

(単位：千円)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
経常収益	17,289,321	17,734,979	17,795,493	18,328,473	18,533,200
共済掛金等収入	13,251,428	13,478,564	13,844,354	14,126,422	14,266,751
その他収益	4,037,891	4,256,413	3,951,138	4,202,049	4,266,448
経常費用	15,265,478	15,464,766	15,459,376	16,290,618	16,281,027
共済金等支払額	7,462,542	7,778,861	7,366,932	8,300,359	7,893,610
共済契約準備金繰入額	3,909,632	3,803,975	4,144,471	4,026,188	4,198,140
事業経費	3,893,303	3,881,929	3,947,972	3,964,070	4,189,277
経常剰余金	2,023,842	2,270,212	2,336,116	2,037,854	2,252,172

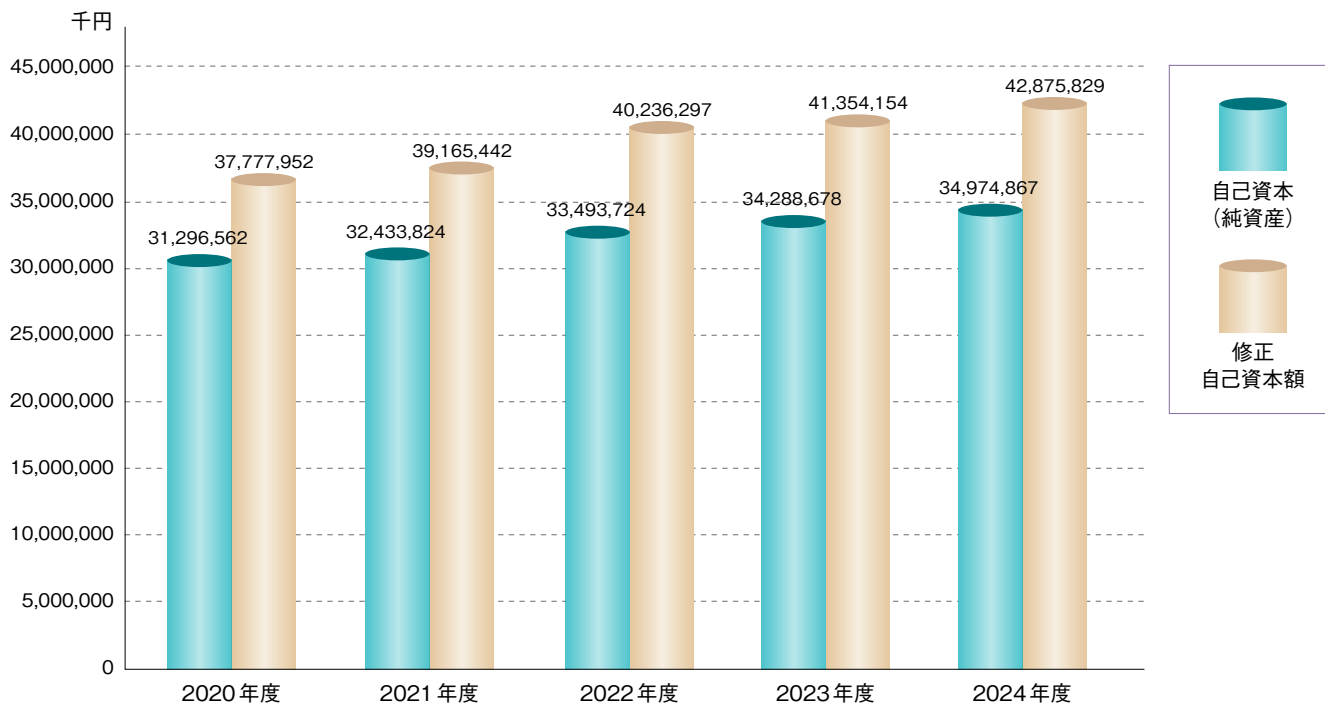
○経営指標

[自己資本の状況]

自己資本（純資産）は34,974,867千円で、この額に異常危険準備金7,807,330千円および価格変動準備金198,042千円を加算し利用分量割戻予定額104,410千円を差し引いた修正自己資本額は、42,875,829千円となりました。

修正自己資本比率（修正自己資本額の総資産に占める割合）は、87.3%となりました。

●自己資本の推移



●修正自己資本額の推移（異常危険準備金等を含む）

（単位：千円）

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
①自己資本	出資金	6,458,140	6,715,474	6,802,164	7,157,237
	法定準備金	3,560,889	3,870,451	4,191,602	4,558,258
	任意積立金	19,208,362	19,700,957	20,481,886	21,190,281
	当期末処分剰余金	1,811,709	1,873,945	2,099,328	1,836,472
	評価・換算差額等	257,459	272,996	△81,258	△453,572
	小計	31,296,562	32,433,824	33,493,724	34,288,678
②異常危険準備金	7,121,923	7,113,869	7,361,942	7,409,113	7,807,330
③価格変動準備金	100,828	123,564	147,583	172,759	198,042
④利用分量割戻予定額	741,361	505,816	766,952	516,396	104,410
修正自己資本額 (①+②+③-④)	37,777,952	39,165,442	40,236,297	41,354,154	42,875,829
修正自己資本比率	85.9%	86.0%	85.6%	86.4%	87.3%

修正自己資本比率=(修正自己資本額)÷(負債と純資産の合計額)×100

[支払余力比率]

支払余力比率は1,821%となり、前年度と比較し268ポイント減少しています。

摘 要	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
支払余力総額 (A) (千円)	39,189,608	40,213,727	41,609,147	41,917,681	43,091,528
リスクの合計額 (B) (千円)	4,107,087	4,107,041	4,050,182	4,013,155	4,733,709
支払余力比率 (%) (A)÷{(B)×(1/2)}×100	1,908	1,958	2,055	2,089	1,821

(注1) 消費生活協同組合法施行規則および消費生活協同組合法施行規程にもとづいて算出しています。

(注2) 生命共済事業と損害共済事業の両方を実施しているため、生命保険会社または損害保険会社のソルベンシーマージン比率と単純に比較できません。

○(参考) 剰余金の処分

当期末処分剰余金は、1,948,315千円となり、327,111千円を生協法で定める法定準備金として積み立て、104,410千円（火災共済：37,647千円、生命共済：66,762千円）の利用分量割戻しを行ない、任意積立金として1,278,000千円の積み立てを行ないました。

●剰余金処分の内容

(単位：千円)

適 用	金 額
I. 当期末処分剰余金	1,948,315
II. 剰余金処分額	1,709,521
法定準備金	327,111
利用分量割戻金	104,410
火災共済	37,647
生命共済	66,762
任意積立金	1,278,000
共済リスク・経営諸リスク対応積立金	200,000
システム開発積立金	50,000
見舞金事業積立金	100,000
税効果調整積立金	128,000
資産運用リスク積立金	800,000
III. 次期繰越剰余金	238,793

●剰余金処分後の法定準備金額および任意積立金額

(単位：千円)

区 分	金 額
法定準備金	5,201,199
任意積立金	23,159,768
共済リスク・経営諸リスク対応積立金	12,400,000
システム開発積立金	3,450,000
税効果調整積立金	1,998,000
資産運用リスク積立金	2,500,000
災害対策積立金	100,000
見舞金事業積立金	2,771,768

- ・「共済リスク・経営諸リスク対応積立金」は、通常の共済引受リスクを超える巨大災害発生時の共済リスクおよび経営上のリスクに備えるための積立金です。
- ・「システム開発積立金」は、将来のシステム更改・開発に備えるための積立金です。
- ・「税効果調整積立金」は、税効果会計により計上した繰延税金資産に対する積立金です。
- ・「資産運用リスク積立金」は、保有運用資産の運用リスクに備えるための積立金です。
- ・「災害対策積立金」は、災害時に保有する固定資産が被る損害に備えるための積立金です。
- ・「見舞金事業積立金」は、見舞金事業に規定する「供物代」「大規模災害見舞金」の給付に備える積立金です。

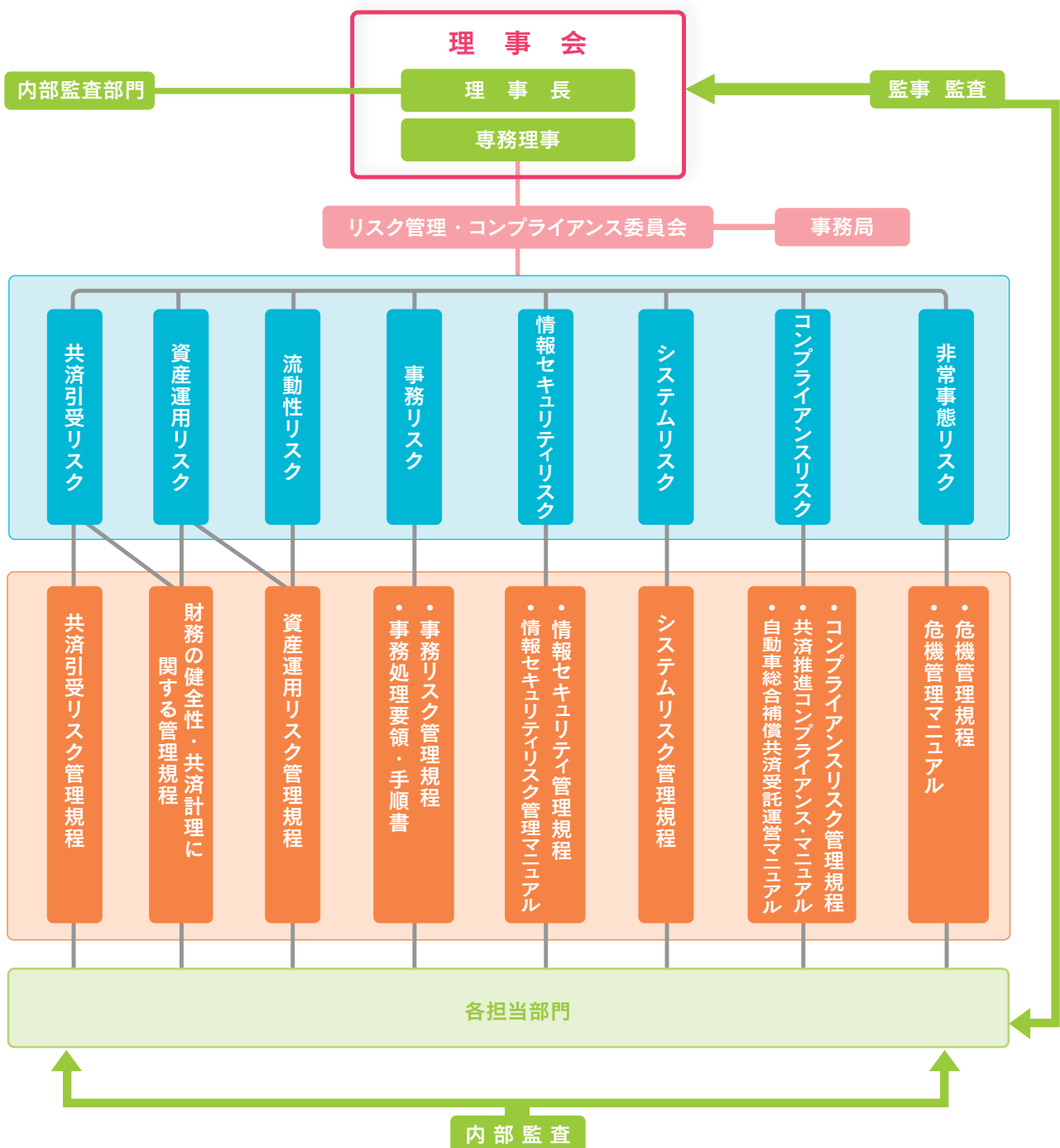
① 総合リスク管理体制

共済事業を推進するにあたっては、様々なリスクの所在を把握し、それらの特性を分析するとともに、種々のリスクに応じた適切な管理を行なうことが重要です。

電通共済生協では2009年8月に「総合リスク管理・コンプライアンス規則」を策定しました。このなかで、保有するリスクを「共済引受リスク」「資産運用リスク」「流動性リスク」「事務リスク」「情報セキュリティリスク」「システムリスク」「コンプライアンスリスク」「非常事態リスク」に区分し、それぞれの具体的な内容や範囲を規定して体系的な管理を実施しています。

体制面では、総合的な管理として、「リスク管理・コンプライアンス委員会」を設置し、各種リスクの管理方法（内部規則）を下図のとおり定めています。

また、内部牽制機能を高めるために、内部検査（監査）を実施し、管理状況の検証を行なっています。



2 個人情報保護について

電気通信産業労働者共済生活協同組合（以下「電通共済生協」という。）では、組合員・契約者の皆様からご信頼をいただけるよう、個人情報の取扱いについて、個人情報の保護に関する法律（以下、「個人情報保護法」という。）および行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（以下、「番号法」という。）ならびにその他の関係法令を遵守し適切に行ないます。

個人情報の適切な取扱いのため、年1回以上の監査と見直しを行ない、継続的改善に努めます。定期的な監査以外にも、不備を見つけた場合には迅速に対応します。

個人情報の取扱いについては、原則下記1～6項のように行ないますが、法令に基づく場合等個人情報の取扱いにおいて例外事項を適用しなければならない場合には、個人情報保護総轄責任者の責任の下で行ないます。

1 個人情報の利用目的・取得等

電通共済生協は、より良い共済商品やサービスを提供させていただくため、組合員・契約者の皆様に関する必要最小限の情報を取得し、利用させていただきます。

なお、個人情報保護法および番号法において例外的に利用が認められている場合は、以下の利用目的を超えて利用させていただくことがあります。

(1) 個人情報について

組合員・契約者の皆様の個人情報は、ご本人かどうかの確認、共済契約の締結・維持管理、共済金の支払い等を含む共済契約の判断に関する業務や各種共済商品の加入促進活動や契約状況の案内、共済商品・サービスの紹介等の目的のために利用させていただきます。

また、利用目的の達成に必要な範囲を超えて個人情報を取り扱う場合は、あらかじめご本人の同意をいただきます。

(2) 特定個人情報について

組合員・契約者の皆様の特定個人情報は、共済契約にかかる支払調書の作成事務などの目的のために利用させていただきます。

2 取得させていただく情報の種類

(1) 個人情報について

組合員・契約者の皆様の住所、氏名、生年月日、性別、電話番号、その他共済契約の締結・共済金の支払いを行なうにあたって必要となる情報やホームページから「お問い合わせ」等をいただいた方のメールアドレス等の情報を取得させていただきます。

(2) 特定個人情報について

組合員・契約者の皆様の個人番号（マイナンバー）および本人確認のための必要最低限の情報（住所、氏名、生年月日、性別等）を取得させていただきます。

3 情報の取得方法

(1) 個人情報について

主に申込書や契約書等により、組合員・契約者の皆様の情報を取得させていただきます。

また、所属されている労働組合等を経由して、共済に係わる組合員・契約者の皆様の情報を取得させていただきます。

(2) 特定個人情報について

共済金請求書などの請求にかかる帳票等により、情報を取得させていただきます。

4 情報の管理

電通共済生協では、組合員・契約者の皆様から取得する情報について、「個人情報保護規程」および「特定個人情報保護規程」にもとづき以下のとおり安全管理に努めます。

(1) 保管について

情報の保管については、管理責任者等の設置や情報セキュリティ対策等をはじめ、必要かつ適切な措置を講じるとともに、組合員・契約者の皆様の情報の漏えい、紛失、き損または情報への不正アクセスなどの防止を図るなど、情報の安全管理に努めます。

また、個人情報および特定個人情報については、利用目的の達成に必要な範囲において正確かつ最新なものにするよう努めます。

なお、他の事業者等に業務委託する場合等においては、委託先に対して、適切な情報管理を求めるとともに、目的外の利用を行なわせない等の必要かつ適切な委託先の監督に努めます。

(2) 情報の廃棄等について

情報の廃棄については、法令で定める保存期間を経過する等、保管の必要がなくなった場合には、速やかに復元不可能な手段で廃棄または削除します。

5 情報の利用・提供

(1) 個人情報について

電通共済生協では、組合員・契約者の皆様の個人情報を業務上必要がある場合にのみ利用し、個人情報を外部に提供することはありません。

(2) 特定個人情報について

組合員・契約者の皆様の特定個人情報は、取得目的および番号法の定める範囲内でのみ利用し、番号法に定める場合を除いて、利用目的を超えて利用・提供することはありません。

6 共同利用

電通共済生協およびそのグループ会社等では、共済契約の締結、維持・管理、共済金支払の適正化等を目的に、それぞれ行政庁および共済事業団体等との間で保有個人データを共同利用させていただきます。

7 開示・訂正・利用停止

電通共済生協は、個人情報の取り扱いに関するお問い合わせ、相談等を下記窓口にて受け付けております。

【お問い合わせ窓口】

電通共済生協 総務経理部

電話：03-6810-6788

（受付時間：9時～17時30分 年末年始および土日祝祭日を除きます）

2005年 3月1日 制定

2007年 1月1日 改定

2014年 8月1日 改定

2018年12月1日 改定

3 勧誘方針

共済事業の推進にあたり、「金融商品の販売等に関する法律」にもとづいて、「勧誘方針」を定めています。

電通共済生協は、「消費生活協同組合法」にもとづき、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆様の安心とゆとりある暮らしを目指します。

1. 当組合は、「消費生活協同組合法」「金融商品の販売等に関する法律」「消費者契約法」およびその他各種法令などを遵守し、適正な共済の推進に努めます。
2. 当組合は、組合員の皆様に共済内容を正しくご理解いただくために、説明内容や説明方法を工夫し、組合員のニーズと実情にそった適切な共済が選択できるように努めます。
3. 当組合は、正当な理由なく深夜や早朝などの不適當な時間帯に共済の推進は行なわないように努めます。
4. 当組合は、共済事由が発生した場合には、迅速かつ的確な共済金の支払に努めます。
5. 当組合は、プライバシー保護の重要性を認識し、組合員の情報については適正かつ厳正な管理に努めます。
6. 当組合は、組合員皆様方のご意見等の収集に努め、今後の共済開発や推進に反映していくように努めます。
7. 当組合は、総合（慶弔）共済、生命共済、火災共済、自然災害共済、交通災害共済、自動車共済（マイカー共済）、車両共済、自動車損害賠償責任共済を取り扱っています。

2001年4月1日

電気通信産業労働者共済生活協同組合

4 反社会的勢力への対応について

電気通信産業労働者共済生活協同組合は、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力及び団体に
対し、断固とした姿勢で臨むため、「反社会的勢力による被害を防止するための基本方針」を定めています。

1 組織として対応します。

反社会的勢力から不当要求がなされた場合には、担当者や担当部署だけに任せるのではなく、組織全体
として対応するとともに役職員の安全を確保します。

2 外部専門機関と連携します。

反社会的勢力による不当要求に備えて、平素から警察・暴力追放運動推進センター・弁護士等の外部
の専門機関と意思疎通を行ない、緊密な連携関係を構築します。

3 取引を含めた一切の関係を遮断します。

反社会的勢力とは一切の関係をもちません。また、反社会的勢力であると知らずに関係を有してしまっ
た場合は、相手方が反社会的勢力であると判明した時点で速やかに関係を解消します。

4 有事における民事と刑事の法的対応を行ないます。

反社会的勢力の不当要求に対しては、民事と刑事の両面から法的対応を行なうこととし、あらゆる民事
上の法的手段を講じるとともに、積極的に被害届けを出すなど、刑事事件化も躊躇しません。

5 裏取引や資金提供は絶対に行ないません。

反社会的勢力による不当要求が、事業活動上の不祥事や役職員の不祥事を理由とするものであっても、
事案を隠蔽するために裏取引や資金提供を行なうなどの行為は絶対に行ないません。

1 運営機関と機能

理事の解任権

総代会

総代会は電通共済生協の最高意思決定機関で、事業年度終了の日から3か月以内に（例年10月）通常総代会を開催します。

臨時総代会は、理事会の議決や総代の請求により必要に応じて開催します。

総代は総代選挙規約により、組合員の中から選出します。

総代会では、役員選挙等規約により役員を選挙します。また、定款の変更、共済事業規約の設定・変更、前事業年度の事業報告および決算報告、当該事業年度の事業計画および予算等の重要な事項の議決を行ないます。

審査委員会

共済契約および共済金の支払いに関する決定についての異議を、社外の有識者（弁護士等）を含めた委員で審査します。

理事会

理事会は、総代会で決定された事業計画にもとづき、電通共済生協の業務を執行します。

事業細則・諸規程の設定・変更、資産運用に関する事項、財産の取得や処分、その他業務の執行に関する重要事項などは理事会の議決事項となっています。

理事会は3か月に1回以上開催されますが、日常執り行なわれる業務は、常務理事会（原則週1回の開催）によって運営されます。

理事の職務・執行の監査

監事の解任権

監事会

事業の運営が、法令、定款および総代会の決定にもとづき行なわれているか監査を行ないます。

監査は監査計画にもとづき行なわれ、監査結果は総代会で報告されます。

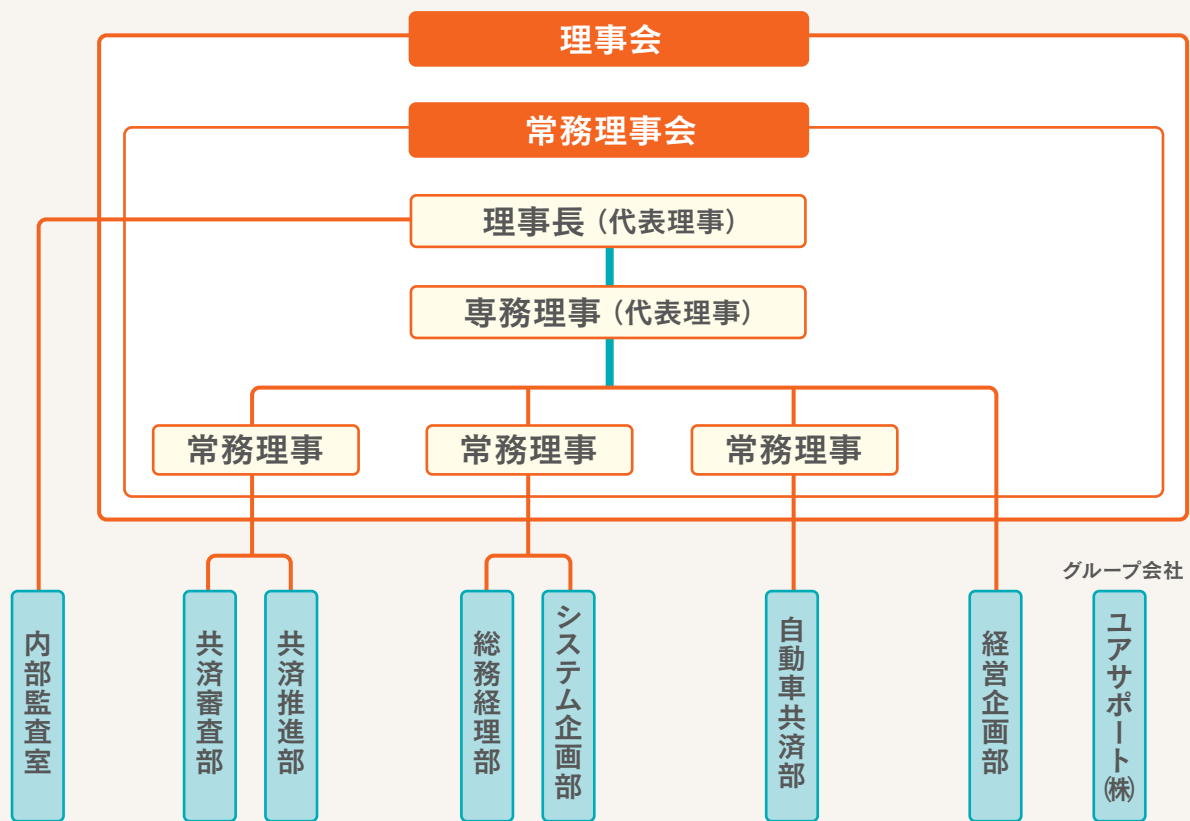
資産運用委員会

資産運用に関する意思決定機関で常勤理事全員で構成されています。法令、定款および「資産運用リスク管理規程」を遵守し、具体的な運用方法の選定、保全および資産運用にかかわるリスク管理を行ないます。

リスク管理・コンプライアンス委員会

専務理事、常務理事および部門長職で構成され、リスク管理・法令遵守にかかわる取り組みの推進をはかります。

2 事務運営の組織（事務機構）



III

組織の概況および組織運営に関する事項

● 経営企画部

事業計画の策定、機関会議の開催、広報活動、年間加入促進方針の設定、加入状況の分析、加入促進方針の策定、経営諸リスクの管理 他

● システム企画部

生協システムの開発・更改・維持管理、社内ネットワーク運用管理 他

● 総務経理部

機関運営の概括管理、組織・人事諸制度管理、個人情報保護、危機管理、予算・実績管理、決算業務、資産運用業務 他

● 共済推進部

共済募集活動、契約の引受・維持管理、募集資料・申込書等作成、掛金業務、事務委託先支援、コールセンタ業務委託先支援 他

● 共済審査部

共済金審査・認定業務、請求書類等作成 他

● 自動車共済部

「マイカー共済」・「自賠責共済」の共済代理店に関する業務 他

● 内部監査室

内部監査の実施、内部管理体制等の適切性・有効性の検証 他

3 役員の氏名および役職名

2025年10月22日現在

役 職	氏 名	所 属
代表理事 理 事 長	安藤 京一	
代表理事 専務理事	佐藤 茂	
常 務 理 事	松田文史郎	
常 務 理 事	佐藤 祐一	
常 務 理 事	梅田 貴史	
理 事	十川 雅之	NTT 労組中央本部
理 事	山本 雄介	NTT 労組中央本部
理 事	水野 和人	NTT 労組中央本部
理 事	高梨真貴子	NTT 労組中央本部
理 事	小林 鉄也	NTT 労組中央本部
理 事	松本 智志	NTT 労組中央本部
理 事	三上 昌佳	NTT 労組東日本本部
理 事	足立 達也	NTT 労組西日本本部
理 事	平田 雅則	NTT 労組ドコモグループ本部
理 事	中野 富夫	NTT 労組データグループ本部
理 事	市橋 直久	NTT 労組持株グループ本部
理 事	春川 徹	情報労連中央本部
理 事	高代 守	情報通信設備建設労働組合連合会
理 事	浦 早苗	KDDI労働組合中央本部
理 事	川辺 優	NTT 労組退職者の会中央協議会
理 事	本橋 一郎	NTT 労組退職者の会中央協議会
理 事	相馬 真琴	NTT 労組退職者の会中央協議会
代表理事 理 事	野田三七生	退職組合員
代表監事 監 事	大方 幹子	情報労連中央本部
監 事	堀井 弘文	NTT 労組東日本本部
監 事	荒巻 浩平	NTT 労組持株グループ本部
顧 問	北野 眞一	情報労連中央本部

●取扱共済制度一覧

ひと



生命共済〈ささえ愛〉

交通災害共済〈しぐなる〉

『総合(慶弔)共済』を
基本に暮らしを
トータルサポート
します。

いえ



火災共済〈すまいる〉

自然災害共済〈おまかせ〉

くるま



マイカー共済

自賠責共済

総合(慶弔)共済

働く仲間が少しずつお金を出しあい、「仲間の誰かにお祝いごとや万一のことがあった時にそのお金を役に立てよう」、そんな絆から「総合(慶弔)共済」は生まれました。

IV

主要な業務の内容

■お支払い どんなときに・いくら？

【祝金】



結婚	30,000円
出生	20,000円
小学校入学	10,000円
中学校卒業	10,000円
銀婚	20,000円



【見舞金】

本人死亡	300,000円
配偶者死亡	100,000円
親死亡	30,000円
障害	最高300,000円
傷病(30日以上 of 休業)	15,000円
親介護(要介護2以上の認定)	50,000円
住宅災害・火災等	最高200,000円
住宅災害・地震等	最高 50,000円
住宅災害・風水害等	最高200,000円

など

■契約対象 組合員本人〈職域内で勤務する65歳以下の組合員〉

■掛 金 月払500円

生命共済〈ささえ愛〉

■お支払い どんなときに・いくら？



	1口あたりの保障額	50口契約の場合
死亡 病気・不慮の事故等で死亡	100万円	5,000万円
重度障害 病気・不慮の事故等で治療終了後も残る重度障害	100万円	5,000万円

■**契約対象** 組合員本人・配偶者（最高5,000万円保障。年齢による限度口数があります）
組合員と同一生計の子ども（最高500万円保障）

■**掛 金** 年齢群団に応じた掛金

【組合員本人・配偶者・年払時 1口あたりの掛金】

12月1日時点の満年齢	年払掛金	12月1日時点の満年齢	年払掛金	12月1日時点の満年齢	年払掛金
～35歳	1,800円	61～65歳	6,400円	81～84歳	73,500円
36～45歳	2,100円	66～70歳	11,700円	※子ども契約は、年齢に関係なく1口あたり1,200円（年払時）。	
46～55歳	2,900円	71～75歳	20,500円		
56～60歳	4,500円	76～80歳	40,300円		

- 特 長**
- ①1年更新のためライフステージにあわせた保障額の変更ができます。
 - ②退職した後も退職組合員として84歳まで更新可能（一定の条件があります）
 - ③組合員本人の契約がなくても配偶者・子どものみの契約が可能。
 - ④組合員本人・配偶者とも最高5,000万円の保障

IV

交通災害共済〈しぐなる〉

■お支払い どんなときに・いくら？

	1口契約の場合	8口契約の場合
死亡	100万円	800万円
障害	100万円～4万円	800万円～32万円
入院（1日につき）	1,500円	12,000円
通院（1日につき）	800円	6,400円

■**契約対象** 組合員本人、組合員と同一生計の親族

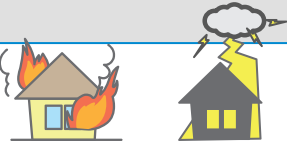

■**掛 金** 年払時 1口あたり500円（年齢にかかわらず）

- 特 長**
- ①交通機関にかかわる事故を保障
 - ②同一生計であれば年齢にかかわらず契約可能（組合員本人の契約不要）
 - ③国内外の交通事故が対象
 - ④入通院は1日目から保障



火災共済〈すまいる〉

■お支払い どんなときに・いくら？

		住宅への保障 1口あたりの 最高保障額	家財への保障 1口あたりの 最高保障額
火災・落雷などによる損害		10万円	10万円
風水害などによる損害		3万円	3万円




■掛金【年払時 1口あたりの掛金】

	木造	耐火構造
住宅契約	80円	40円
家財契約	80円	40円

- 特長
- ①全国一律の掛金
 - ②70%以上の焼破損割合で「全焼損」となります
 - ③火災等での共済金支払いの場合に「再取得価額」で保障
 - ④「家財契約」では落雷による家電製品の被害にも対応

自然災害共済〈おまかせ〉 火災共済〈すまいる〉にセットして契約 ※単独契約不可

■お支払い どんなときに・いくら？

		ベーシック		エコノミー	
		住宅への保障 1口あたりの 最高保障額	家財への保障 1口あたりの 最高保障額	住宅への保障 1口あたりの 最高保障額	家財への保障 1口あたりの 最高保障額
風水害などによる損害		7万円	7万円	5万円	5万円
地震・津波などによる損害		3万円	3万円	2万円	2万円
盗難による損害		10万円	10万円	10万円	10万円

■掛金【年払時 1口あたりの掛金】

契約タイプ	木造		耐火構造	
	ベーシック	エコノミー	ベーシック	エコノミー
住宅契約	180円	130円	100円	70円
家財契約	180円	130円	100円	70円

- 特長
- ①全国一律の掛金
 - ②地震・津波などによる被害に対応
 - ③風水害や地震などの被害のほかに、住宅内に収納されている家財の盗難も保障（家財契約）

マイカー共済 (契約引受団体：全国労働者共済生活協同組合連合会 (こくみん共済coop))

電通共済生協のおすすめプラン

基本補償

人身傷害補償 (5,000万円)

対人賠償 (無制限)

対物賠償 (無制限)



車両損害補償 選べる3タイプ

一般補償をおすすめ

補償の範囲	一般補償	エコノミー ライト	エコノミー
他の車との衝突 あて逃げも補償	○	○	○
火災・爆発・ 自然災害※	○	○	×
盗難	○	○	×
落書き・いたすら などによる破損	○	○	×
飛来中・落下中 の他物との衝突	○	○	×
自動車以外の 他物との衝突	○	×	×

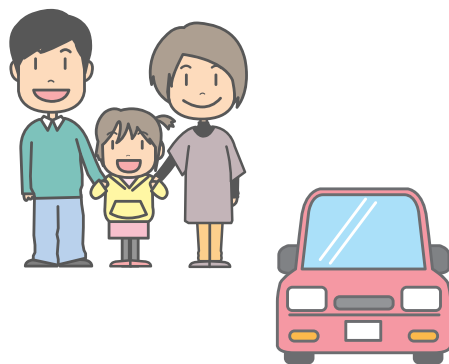
※自然災害は、地震もしくは噴火またはこれらによる津波を除きます。



特約

弁護士費用等補償特約

もらい事故等交通事故で被害を被り、法律上の損害賠償を請求する場合の補償に。



さらにすべてのお車※にロードサービスが自動付帯
故障などのお車のトラブル解決を 24 時間 365 日サポート

※共済契約証書に記載の「被共済自動車」が対象となり、マイバイク特約や他車運転危険補償の対象となる他の自動車は除きます。

割引制度

最大 22 等級、65% 割引

さらに電通共済生協独自の団体割引ほか様々な割引でお手頃に!

運転者年齢条件特約、子供特約、運転者本人限定特約、運転車本人・配偶者限定特約、ハイブリッド車割引、福祉車両割引、AEB 割引、複数契約割引、セカンドカー割引、新車割引など

自賠責共済 (契約引受団体：全国労働者共済生活協同組合連合会 (こくみん共済coop))

「自動車損害賠償保障法」にもとづき、すべての自動車に加入が義務付けられています。マイカー共済+自賠責共済のセット加入をおすすめしています。

損害の種類	損害の範囲	支払限度 (被害者 1 名あたり)
死 亡	葬儀費、逸失利益、慰謝料	最高 3,000 万円
後遺障害	逸失利益、慰謝料等	最高 4,000 万円 ※常時介護のときです。
傷 害	治療関係費、休業損害、 文書料、慰謝料	最高 120 万円



電通共済生協 いつでもどこでも メディカル相談ダイヤル

突然の発病やケガ、日常のおからだやこころの悩み、専門的な医療・健康から
育児・栄養、お薬の相談までお気軽にご相談いただけます。



メディカル相談ダイヤルのサービスメニュー

臨床心理士による高度なサービス

★こころのカウンセリングサービス（事前予約）

気分が優れない、やる気がしないといったお悩みことから、人間関係、ご自身の性格、プライベートに関するお悩みまで、臨床心理士がお話を伺い、情報提供やアドバイスをさせていただきます。

現役の救急科専門医が常駐

★緊急医療・一般健康相談サービス（24時間365日）

5年以上の臨床経験を有した看護師が、医療電話相談の研修を経て、突然の病気やケガ、日常のからだの悩みについてお応えいたします。また、救命救急センターに勤務する「現役の救急科専門医」が24時間365日常駐し、相談業務の支援や看護師へのアドバイスをこなしております。

医療機関への道順も案内

★医療機関案内サービス（24時間365日）

専門医がいる病院、夜間・休日の救急医療機関や出張先・旅先での最寄りの医療機関等、全国約53万件のデータベースからお客様のご要望にあった医療機関等をご案内いたします。

子育てに関することから、食に関することまで、幅広い関連情報のご提供

★育児・栄養相談サービス（24時間365日、一部事前予約）

お子様の病気・ケガなどの症状相談の他にも、予防接種・健康診断、発達・発育など、「育児」に関するご相談、離乳食～高齢者向けの食事、病中病後のお食事、生活習慣病予防など、「食」に関する様々なご相談にお応えいたします。

経験豊富な看護師が対応！

★女性専用健康相談サービス（事前予約）

臨床経験豊富な女性の看護師が、コールセンター向けの医療相談研修を経て、女性特有の発病や気になる症状、日常のおからだの悩みについてお応えいたします。

さまざまな薬剤情報のご提供

★お薬相談サービス（24時間365日、一部事前予約）

処方された薬や市販薬の効果や副作用、飲み合わせなど、「お薬」に関する様々なご相談にお応えいたします。

専門医による高度なサービス

★予約制専門医相談サービス（事前予約）

30以上の診療科の専門医が十分な時間をかけて、日頃のおからだの不調やお悩みに関するご相談に専門的に応えさせていただきます。

臓器ごとのがん専門医による高度なサービス

★予約制専門医「がん」相談サービス（事前予約）

臓器ごと、進行ステージごとに、「根治をめざすのか」、「緩和ケア」が目的なのか、すべての可能性を考慮した最適な治療法をがん専門医が的確にアドバイスいたします。

認知症へのご不安をサポートいたします！

★記憶サポートデスクサービス（平日9:00～17:00）

「認知症かも…?」「将来、認知症になるのでは…」と不安を抱えておられる皆様に安心・安全な社会生活をお送りいただくためのアドバイスや「症状チェックシート」の実施などのサービスをご提供いたします。

※「症状チェックシート」の対象は、相談者ご本人様のみとなります。

【ご利用上のご注意】※本サービスは、東京海上日動メディカルサービス（株）に委託しております。※本サービスは、医療・健康に関する助言、情報提供を行なうもので、効果を保障するものではありません。※本サービスは、医療・健康に関する助言、情報提供を行なうもので、医療行為にあたる対応は行ないません。※プライバシーは厳守しております。※本サービスで取得した情報は、緊急時対応を含め、開示することはできません。※ご相談内容によりご要望に添えない場合がございます。※対面カウンセリングについては、地域や内容によりご要望に添えない場合がございます。

名称・事業の内容等

会社名	コアサポート株式会社
所在地	東京都千代田区神田淡路町二丁目101番地ワテラストワー
資本金	8,000万円
主要な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・電通共済生協、情報労連共済本部、NTT労組からの受託事業等 ・損害保険募集代理店事業 団体総合生活保険（医療・傷害〈Myセーフティ〉）に関する業務 NTTグループ団体傷害保険「まもるくん」に関する業務 ・生命保険募集代理店事業 情報労連組織を対象とする生命保険（疾病保障付生命共済《やすらぎ》）に関する業務
設立年月日	1985年6月8日
電通共済生協の議決権の割合	65%
電通共済生協の子会社等の議決権の割合	-

団体総合生活保険

医療・傷害〈Myセーフティ〉 「医療・傷害〈Myセーフティ〉」は団体総合生活保険のペットネームです。

■お支払い どんとときにいくら？

医療保障

病気で入院したときの費用が心配…

1口タイプ	
入院の保障	日額5,000円 × 入院日数 [1入院60日/通算制限無し]
手術等の保障	重大手術 20万円
	入院中の手術 5万円
	入院中以外の手術 2.5万円
放射線治療の保障 5万円	
総合先進医療の保障 基本保険金 300万円まで 一時金 10万円	
三大疾病一時金特約*1 100万円 [特約ありの場合]	
女性医療特約*3	女性入院保険金 日額5,000円
	女性形成治療保険金 10万円または20万円

*1 「がん」「急性心筋梗塞」「脳卒中」により所定の状態に該当した場合

*3 女性のみ

傷害保障

日常生活におけるケガや熱中症が心配…

1口タイプ	
入院の保障	日額5,000円 × 入院日数 [1事故180日/通算制限無し]
通院の保障 日額1,500円 × 通院日数 [1事故90日(事故の日から180日以内)]	
手術等の保障	入院中 5万円
	入院中以外 2.5万円
死亡・後遺障害*2の保障 100万円	

*2 後遺障害保険金は程度に応じて死亡・後遺障害保険金額の4%～100%をお支払いいたします。

■掛金

(単位：円)

団体割引等40.5%を適用（介護保障特約は44%）（2025年12月1日午前0時*4～2026年12月1日午後4時）

<医療保障>1口タイプ

(単位：円)

被保険者年齢	月払掛金	被保険者年齢	月払掛金	被保険者年齢	月払掛金
0～4歳	370	30～34歳	450	60～64歳	1,760
5～9歳	270	35～39歳	470	65～69歳	2,380
10～14歳	250	40～44歳	520	70～74歳	3,240
15～19歳	280	45～49歳	680	75～79歳	4,040
20～24歳	390	50～54歳	880	80～84歳	4,840
25～29歳	430	55～59歳	1,220		

※医療保障の新規・増口加入は、2025年12月1日時点で満年齢65歳以下の方がご加入いただけます。（健康状態等告知あり）

※上記掛金は、三大疾病一時金特約なしおよび女性医療特約なしの場合の掛金となります。

<傷害保障>1口タイプ

(単位：円)

月払掛金					
本人型	710	夫婦型	1,360	家族型	2,550
				家族型（配偶者除く）	1,900

<オプション>個人賠償責任、介護保障、携行品、ホールインワン・アルパトロス費用、借家人賠償責任 他

■特徴

- ①「病気による入院・手術」や「交通事故を含む万一のケガおよび熱中症」にワンストップで備えることができます。
- ②団体割引等40.5%適用（介護保障特約は44%）の割安な掛金で加入することができます。
- ③個人賠償責任、介護保障、借家人賠償責任など各種オプションを組み合わせることができます。

このご案内は団体総合生活保険の概要についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」等をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、下記までお問い合わせください。

- 取扱代理店：コアサポート株式会社 電通共済生協グループコールセンタ ☎0120-211-114
- 引受保険会社（幹事）：東京海上日動火災保険株式会社

(音声ガイダンス *3)

●損益の概況（第40期）

（単位：千円）

2023年8月1日～2024年7月31日

売上高 計	1,040,717	
売上原価 計	—	
売上総利益		1,040,717
販売費及び一般管理費 計	724,924	
営業利益		315,792
営業外収益 計	16,588	
営業外費用 計	—	
経常利益		332,381
特別利益 計	—	
特別損失 計	43,861	
税引前当期純利益		288,519
法人税及び住民税		101,444
当期純利益		187,075

●損益の概況（第41期）

（単位：千円）

2024年8月1日～2025年7月31日

売上高 計	1,050,038	
売上原価 計	—	
売上総利益		1,050,038
販売費及び一般管理費 計	740,286	
営業利益		309,752
営業外収益 計	17,463	
営業外費用 計	40	
経常利益		327,175
特別利益 計	—	
特別損失 計	—	
税引前当期純利益		327,175
法人税及び住民税		116,567
当期純利益		210,607

●貸借の概況（第40期）

（単位：千円）

2024年7月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産合計	1,407,391	流動負債 計	139,411
固定資産合計	353,091	固定負債 計	90,429
		負債の部合計	229,841
		純 資 産 の 部	
		【株主資本】	
		資本金	80,000
		利益剰余金 計	1,450,642
		株主資本 計	1,530,642
		純資産の部合計	1,530,642
資産の部合計	1,760,483	負債及び純資産の部合計	1,760,483

●貸借の概況（第41期）

（単位：千円）

2025年7月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産合計	1,586,165	流動負債 計	152,230
固定資産合計	345,632	固定負債 計	102,317
		負債の部合計	254,548
		純 資 産 の 部	
		【株主資本】	
		資本金	80,000
		利益剰余金 計	1,597,249
		株主資本 計	1,677,249
		純資産の部合計	1,677,249
資産の部合計	1,931,798	負債及び純資産の部合計	1,931,798

59年間で520万件、約4,274億円をお支払いしました。

年度	総合（慶弔）共済		火災共済		自然災害共済		生 命 共 済						
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	本人契約		配偶者契約		子ども契約		
							件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	
1	23,515	132,755	690	27,924			40	14,730					
2	58,046	345,291	188	56,855			143	69,470					
3	62,510	357,574	247	70,868			132	67,920					
4	69,165	396,826	2,340	83,936			140	80,850					
5	76,170	449,654	2,460	88,627			168	95,750					
6	81,814	473,624	10,171	209,287			272	129,055					
7	85,672	478,075	5,393	182,542			281	125,600					
8	106,973	685,509	1,225	227,341			354	211,990					
9	106,513	809,295	533	238,594			379	316,220					
10	119,766	862,326	602	327,562			433	459,455	7	1,560			
11	108,375	863,269	1,126	698,751			505	709,585	36	46,880			
12	101,477	842,926	654	487,285			529	840,360	51	74,500			
13	100,385	959,258	512	412,751			558	909,650	69	98,600			
14	108,524	1,142,275	464	516,064			589	1,134,680	105	195,300			
15	108,539	1,145,188	624	562,254			588	1,412,125	93	227,400	3	4,000	
16	103,766	1,138,305	615	528,028			604	1,610,410	105	251,200	2	3,000	
17	106,443	1,173,269	1,040	603,895			611	1,756,800	128	269,000	5	8,000	
18	106,128	1,133,311	855	725,361			488	2,488,700	145	383,800	17	26,280	
19	109,297	1,065,696	615	666,853			393	2,012,852	125	326,300	18	28,000	
20	109,081	1,061,835	1,011	771,766			413	2,168,117	147	356,000	18	25,700	
21	100,822	1,338,209	826	634,469			393	2,070,430	134	381,150	24	37,900	
22	99,107	1,449,604	1,665	770,972			407	2,465,200	115	343,900	24	39,300	
23	98,515	1,502,561	1,030	562,094			621	3,065,969	141	429,450	30	40,100	
24	93,741	1,416,763	1,246	684,311			388	2,195,150	141	452,700	28	50,900	
25	90,956	1,377,195	1,462	671,635			412	2,405,600	109	320,500	26	41,700	
26	91,128	1,427,997	8,773	2,043,150			429	2,821,950	122	360,600	39	66,000	
27	83,120	1,297,584	1,667	692,799			408	2,851,050	110	321,850	29	53,100	
28	88,961	1,428,208	2,800	1,092,631			464	3,067,150	112	355,800	32	58,500	
29	97,847	1,873,837	8,123	2,953,660			434	2,932,600	102	316,100	41	70,400	
30	78,085	1,306,125	2,306	888,117			451	3,343,800	122	384,500	38	68,400	

「年度」は、電通共済生協の事業年度を表します。

「マイカー共済」第38期以降は、受託共済（支払いはこくみん共済coop〈全労済〉から）としての数値を表示しています。

（単位：件、千円）

	年度	交通災害共済		マイカー共済		車両損害補償		自賠責共済		合 計		西暦(年)
		件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	
	1									24,245	175,409	1967
	2									58,377	471,616	
	3									62,889	496,362	1968
	4	13	1,659							71,658	563,271	1969
	5	631	40,242							79,429	674,273	1970
	6	1,159	77,154							93,416	889,120	1971
	7	1,314	90,019							92,660	876,236	1972
	8	1,310	109,084							109,862	1,233,924	1973
	9	1,812	151,642							109,237	1,515,751	1974
	10	2,357	230,120							123,165	1,881,023	1975
	11	2,503	277,046							112,545	2,595,531	1976
	12	2,702	271,780							105,413	2,516,851	1977
	13	2,827	328,075							104,351	2,708,334	1978
	14	2,973	374,495							112,655	3,362,814	1979
	15	3,089	437,492							112,936	3,788,459	1980
	16	2,598	716,738							107,690	4,247,681	1981
	17	4,511	995,018							112,738	4,805,982	1982
	18	4,874	1,044,768							112,507	5,802,220	1983
	19	4,652	1,115,321							115,100	5,215,022	1984
	20	4,584	1,068,474							115,254	5,451,892	1985
	21	4,684	1,105,208							106,883	5,567,366	1986
	22	5,294	1,192,469	368	283,764					106,980	6,545,209	1987
	23	5,083	1,296,384	3,302	743,409					108,722	7,639,967	1988
	24	5,174	1,370,960	4,620	1,172,744					105,338	7,343,528	1989
	25	11,211	1,149,781	5,117	1,167,124					109,293	7,133,535	1990
	26	11,744	1,212,256	5,581	1,602,642					117,816	9,534,595	1991
	27	11,123	1,113,557	5,765	1,675,210					102,222	8,005,150	1992
	28	12,837	1,234,180	6,758	1,969,271					111,964	9,205,740	1993
	29	13,621	1,313,380	6,830	2,059,274					126,998	11,519,251	1994
	30	12,512	1,237,051	6,015	1,866,160					99,529	9,094,153	1995

VI

支払共済金実績

VI

年度	総合（慶弔）共済		火災共済		自然災害共済		生 命 共 済						
							本人契約		配偶者契約		子ども契約		
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	
31	77,357	1,306,872	1,881	882,512			405	3,314,100	106	366,900	38	73,300	
32	79,654	1,393,080	1,667	783,432			459	3,667,950	142	483,100	36	72,950	
33	76,845	1,354,182	3,324	1,162,712			487	4,141,900	143	557,500	43	105,200	
34	74,808	1,315,513	5,629	1,700,346			463	4,033,500	133	500,650	33	78,300	
35	79,617	1,505,419	4,098	1,316,014	137	18,640	480	4,533,000	151	565,000	45	89,900	
36	80,747	1,620,941	2,015	785,042	93	18,094	498	4,702,350	123	427,100	36	66,500	
37	59,374	1,072,624	2,353	1,302,430	125	30,023	363	3,405,450	112	431,450	32	71,200	
38	56,900	1,043,985	1,990	871,458	163	30,692	331	3,373,700	112	462,900	34	82,700	
39	56,684	1,058,648	12,881	3,157,348	1,456	524,764	281	2,804,500	88	350,500	24	66,000	
40	52,566	1,019,533	5,225	956,205	512	129,149	279	3,375,300	119	546,600	21	50,000	
41	51,119	1,006,505	5,646	1,271,482	593	146,376	326	3,772,000	86	372,000	31	77,000	
42	50,653	1,031,120	3,790	1,142,092	487	147,962	298	3,422,000	115	496,000	27	90,000	
43	49,322	1,013,486	2,329	547,873	306	64,158	322	3,647,000	96	442,000	19	61,000	
44	46,171	920,653	1,777	484,744	495	109,815	294	3,100,000	107	508,000	21	53,000	
45	51,144	1,122,805	12,439	2,640,852	5,887	2,279,972	310	2,930,000	120	479,000	14	38,000	
46	50,204	1,060,197	9,134	1,813,334	3,862	1,396,743	330	3,244,000	140	561,000	10	26,000	
47	48,825	1,027,537	2,992	711,206	868	182,467	360	3,187,000	112	494,000	6	14,000	
48	47,948	967,486	5,014	881,832	1,499	293,489	340	2,762,000	101	404,000	7	20,000	
49	47,843	970,744	3,359	792,769	890	202,805	387	2,914,000	120	493,000	12	36,000	
50	46,627	939,855	3,704	666,312	3,330	1,007,847	392	2,853,000	123	398,000	4	11,000	
51	46,796	932,802	2,480	500,782	1,215	461,807	423	2,938,000	140	508,100	8	30,000	
52	45,201	910,438	3,550	594,598	1,047	213,591	422	2,668,000	123	383,000	6	19,000	
53	44,443	876,941	7,929	1,427,776	3,336	869,674	454	2,795,300	113	377,000	8	15,000	
54	38,681	779,869	5,847	1,254,416	2,034	752,349	457	2,521,000	133	462,000	6	11,000	
55	31,747	686,185	4,406	907,059	1,909	558,802	524	2,915,500	156	554,000	4	15,000	
56	30,340	673,029	3,604	691,236	1,949	518,485	589	3,424,000	171	575,000	6	16,000	
57	30,257	682,966	3,875	789,082	1,432	348,834	597	3,006,000	154	477,000	6	25,000	
58	31,045	726,480	3,002	633,909	1,890	660,001	737	3,634,666	191	549,000	11	29,000	
59	30,227	706,130	2,890	634,353	1,103	304,239	738	3,460,999	192	597,000	1	1,000	
合計	4,287,586	59,660,369	190,093	49,783,588	36,618	11,270,778	24,373	140,379,433	5,941	19,717,890	923	1,964,330	

「年度」は、電通共済生協の事業年度を表します。

「マイカー共済」第38期以降は、受託共済（支払いはこくみん共済coop〈全労済〉から）としての数値を表示しています。

（単位：件、千円）

	年度	交通災害共済		マイカー共済		車両損害補償		自賠責共済		合 計		西暦(年)
		件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	
	31	13,967	1,424,612	5,659	1,946,907					99,413	9,315,203	1996
	32	13,468	1,367,614	6,081	2,069,916					101,507	9,838,042	1997
	33	14,318	1,529,174	6,652	1,889,738			75	57,147	101,887	10,797,553	1998
	34	14,767	1,419,925	7,699	2,214,552	39	9,380	189	85,642	103,760	11,357,808	1999
	35	14,211	1,435,786	8,443	2,698,119	238	66,492	219	135,401	107,639	12,363,771	2000
	36	14,460	1,385,048	8,483	2,690,417	376	10,426	247	101,753	107,078	11,807,671	2001
	37	12,972	1,266,529	8,769	2,375,908	466	118,314	246	125,768	84,812	10,199,696	2002
	38	12,660	1,204,397	8,392	2,534,126	1,829	422,733	217	203,048	82,628	10,229,739	2003
	39	12,374	1,113,684	9,475	2,743,491	3,089	682,514	146	97,852	96,498	12,599,301	2004
	40	10,230	1,054,121	3,224	2,637,324	4,095	860,045			76,271	10,628,277	2005
	41	9,642	1,046,690	9,712	2,561,602	5,121	1,079,853			82,276	11,333,508	2006
	42	8,831	988,573	9,595	2,491,153	5,937	1,221,402			79,733	11,030,302	2007
	43	6,043	853,106	9,390	2,525,215	6,683	1,346,773			74,510	10,500,611	2008
	44	4,477	863,570	9,749	2,774,185	7,421	1,503,842			70,512	10,317,809	2009
	45	3,993	765,765	9,788	2,437,202	8,430	1,666,076			92,125	14,359,672	2010
	46	3,786	704,787	9,785	2,644,544	8,799	1,775,876			86,050	13,226,481	2011
	47	3,679	700,324	9,498	2,423,699	8,652	1,773,618			74,992	10,513,851	2012
	48	3,482	658,135	8,881	2,297,382	7,303	1,632,103			74,575	9,916,427	2013
	49	3,428	700,670	8,298	2,279,518	6,637	1,505,621			70,974	9,895,127	2014
	50	3,157	624,643	7,767	2,150,765	5,564	1,310,239			70,668	9,961,661	2015
	51	2,729	511,314	6,551	2,007,312	3,910	980,544			64,252	8,870,661	2016
	52	2,527	556,694	5,457	1,746,278	3,356	901,961			61,689	7,993,560	2017
	53	2,265	478,712	5,210	1,749,460	3,162	897,293			66,920	9,487,156	2018
	54	2,129	451,455	4,830	1,490,495	2,937	858,334			57,054	8,580,918	2019
	55	1,684	356,208	4,171	1,419,044	2,452	710,227			47,053	8,122,025	2020
	56	1,430	315,507	3,992	1,351,590	2,610	779,913			44,691	8,344,760	2021
	57	1,435	281,508	4,169	1,332,871	2,708	883,005			44,633	7,826,266	2022
	58	1,353	268,016	4,196	1,456,775	3,013	1,022,526			45,438	8,980,373	2023
	59	1,253	310,081	4,230	1,351,590	2,936	779,913			43,570	8,145,305	2024
	合計	337,942	44,191,001	252,502	74,830,776	107,763	24,799,023	1,339	806,611	5,245,080	427,403,799	合計

VI

支払共済金実績

電通共済生協のあゆみ

年	主なできごと	主なあゆみ
1966	ビートルズ東京公演	全電通第19回全国大会で共済事業開始決定
1967	グループサウンズブーム	「全電通共済生協」設立認可 「総合共済」事業開始 「火災共済」「生命共済」(労組事業) 「交通災害共済」(全労済元受)
1969	アポロ11号月面着陸	「火災共済」認可(生協事業として開始)
1970	大阪万博開催	「交通災害共済」認可(生協事業として開始)
1973	第1次オイルショック	全電通退職者の会発足
1975	山陽新幹線 博多へ	「全電通共済生協」から「電通共済生協」へ 退職者共済開始
1976	ロッキード事件	酒田大火→被災件数20件 支払共済金5,500万円にのぼる
1978	インベーダゲーム	電通共済生協会館落成(東京・駒込)
1982	500円硬貨登場	「生命共済」認可(生協事業)
1983	東京ディズニーランド開園	電算機導入によるオンライン化
1985	電電公社民営化 NTTに	ユニオンサービス株式会社(現コアサポート(株))設立
1988	青函トンネル開通 本四架橋開通	「マイカー共済」元受事業開始
1991	湾岸戦争	台風19号 九州上陸、日本海縦断、北海道再上陸 約2,700件の被害
1993	サッカーJリーグ開幕	電通共済生協システム更改
1995	阪神淡路大震災 地下鉄サリン事件	総合(慶弔)共済見舞金について特別措置実施(阪神・淡路大震災) 組合員・家族の死亡(36人) 家屋の全壊(737件) など 約7,000件を超える被害
1996	病原性大腸菌O-157	「火災共済」最高限度額引き上げ 6,000万円保障 (住宅4,000万円 家財2,000万円) 「生命共済」最高限度額引き上げ 3,000万円保障
1997	金融機関連続破綻	「自賠責共済」事業開始
1999	NTT再編持株会社化 NTT労働組合第1回中央委員会	電通共済生協システム更改 「総合(慶弔)共済」・「生命共済」契約年齢条件改正
2000	介護保険制度発足	マイカー共済「コールセンタ」開設 「自然災害共済」事業開始(生協事業)
2001	アメリカ同時多発テロ	電通共済生協ホームページ開設
2002	日韓共同開催ワールドカップ	「生命共済」年齢群別掛金改正
2003	新型肺炎SARS	情報労連継続組合員化実施
2004	新潟県中越地震	電通共済生協新システム運用開始 「マイカー共済」全労済へ統合 「元受事業」から「受託事業」へ NTT労組継続組合員化実施
2005	愛 地球博	電通共済生協コールセンタ通年設置 電通共済生協新事務所開設(東京都千代田区神田須田町2丁目6-6) 「自賠責共済」事業を全労済へ包括移転
2006	第1回WBC日本優勝	組合員Webサービス開始
2007	公的年金記録問題	「改正消費生活協同組合法」成立
2008	サブプライムローン	退職者の組合員資格制定(生協法改正による)
2009	政権交代	リスク管理・コンプライアンス委員会設置
2010	高齢者所在不明問題	保険法施行に伴う共済事業規約改正 「生命共済」・「火災共済」・「自然災害共済」制度改正
2011	東日本大震災 「なでしこジャパン」 女子ワールドカップ初優勝	4項目にわたる特別措置実施(東日本大震災) 元受4共済の契約始期を12月1日に統一 ブロック事業推進体制の導入
2012	金環日食 東京スカイツリー開業	東日本大震災 共済金等支払額約53億円(7月末)にのぼる 第69回通常総代会を岩手県花巻で開催
2013	富士山 世界遺産登録	電通共済生協新事務所開設(東京都千代田区神田淡路町2丁目101番地) ブロック事業推進体制の全国展開 退職組合員加入資格の見直し

年	主なできごと	主なあゆみ
2014	消費税の引き上げ（5%→8%） 富岡製糸場と絹産業遺産群 世界遺産登録	医療・傷害（Myセーフティ）の募集開始 ユアサポート（株）ホームページ開設
2015	北陸新幹線開業 マイナンバー（個人番号）通知	ユアサポート（株）創立30周年 交通安全フェア in 所沢を開催 火災共済、自然災害共済制度改定
2016	平成28年（2016）熊本地震 伊勢志摩サミット開催	特別措置実施（平成28年（2016年）熊本地震） マイカー共済制度改定
2017	米新大統領就任 九州北部豪雨	創立50周年記念事業の実施 生命共済制度改定 元受コールセンタを外部委託
2018	平昌オリンピック 大阪北部地震（M6.1） 平成30年7月豪雨 北海道胆振東部地震（M6.7）	自然災害共済・地震総支払限度額引き上げ 3,500億→4,500億 Myセーフティ2018年12月から引受年齢（0～84歳）拡大 マイカー共済、団体割引（7.5%）再開（8月）
2019	平成天皇、生前退位 山形県沖地震（M6.7） 関東に台風15号直撃 消費税引き上げ（8%→10%）	マイカー共済制度・掛金改定（1月） 東日本大震災最終整理 約54.1億円 Myセーフティ保険料（傷害・親介護）改定（2019年12月より） 「心のバリアフリー with 補助犬」セミナー開催（協賛：情報労連）
2020	新型コロナウイルス感染症 世界的感染拡大 東京オリンピック1年延期 令和2年7月豪雨	第79回臨時総代会 自然災害共済総支払限度額引き上げ（1月） 総合（慶弔）共済制度改定（4月） 総合（慶弔）共済の共済金を契約者本人口座送金へ見直し（4月） マイカー共済制度・掛金改定、団体割引（10%）に拡大（4月） 理事会をWeb会議によって開催（7月） 現職組合員「秋のキャンペーン」、初めての生協組合員自宅に郵送（8月） 第80回通常総代会をWeb会議によって開催（10月） Myセーフティ制度充実（12月）
2021	東京オリンピック・パラリンピック 福島県沖地震（M7.3） 令和3年8月豪雨	総合（慶弔）共済（結婚・出生・小学校入学・中学校卒業・結婚・親死亡） 共済金Web請求、住所・電話番号変更Web申請を開始（4月） DX（デジタルトランスフォーメーション）：リモートワーク本格開始（4月） フリーダイヤルを電通共済生協グループとして一本化（9月） 第82回通常総代会を開催（10月） マイカー共済団体割引率の改定（27.5%（基準割引12.5%含む））（11月） Myセーフティ（医療保障）健康告知の簡素化（12月）
2022	ロシアのウクライナ侵襲開始 福島県沖地震（M7.4） 改正民法施行により成人年齢が18歳に引き下げ	第3期中期事業計画の策定（7月） 現職組合員へDMを送付し、新規・増口獲得を目的としたプレキャンペーンを展開（7月） 現職加入促進の資料発行を従来型・ハイブリッド型・自宅送付型の選択制とした（8月） 第83回通常総代会を集合形式で開催（10月） 退職組合員の資格条件を6年（5年と1日）に変更（12月） 生命共済制度改定（60歳までの契約限度口数を30口→50口に引き上げ）（12月）
2023	国内出生数が1889年の統計開始後初めて 80万人を下回る（2月） 石川県能登地方を震源とする地震（M6.5） （5月） 新型コロナ感染症、感染症法上の位置付け を「5類」に引き下げ（5月） LGBT理解増進法が成立（6月）	組合員Webで現住所変更・総合（慶弔）共済の共済金請求受付がスタート（4月） 電通共済生協公式LINE開設（8月） 現職加入促進の資料送付を従来型・ハイブリット型Ⅰ・ハイブリット型Ⅱの選択制とした（8月） 57期決算利用分量割戻実施——火災共済1.4億円・生命共済6.3億円（10月） Myセーフティ親介護特約 保険料および健康状態告知書の改定（2023.12.1より）
2024	令和6年能登半島地震（M7.6）（1月） 日経平均株価 史上初の4万円台（3月） 豊後水道 愛媛 高知地震（M6.6）（4月） 新紙幣の発行 20年ぶり（7月） 日向灘地震（M7.1）に伴う南海トラフ「巨 大地震注意」初の呼びかけ（8月） 台風10号 鹿児島上陸 太平洋側線状降水 帯発生（8月）	能登半島地震 大規模災害見舞金支払決定（4月） 組合員Web 火災・自然災害、生命、交災の期中契約（新規・増口）受付開始（4月） 自然災害共済・総支払限度額引上げ——地震：5,500億→5,750億、風水害：600億→ 850億（4月） マイカー共済 画像アップロード見積り導入（8月） 組合員Web 2024年秋キャン申込 新規・増口受付開始（9月） 58期決算 利用分量割戻実施——火災共済1.9億円・生命共済3.2億円（10月） 火災・自然災害共済制度改定（2024.12.1より） ——風水害リスクの保障充実と自然災害共済の掛金見直し ——自然災害共済のタイプ名変更「ベーシック（旧大型）」、「エコノミー（旧標準）」 Myセーフティ女性医療特約 新設（2024.12.1より）
2025	日向灘地震（M6.6）（1月） 大阪 関西万博（4月～10月） 政府備蓄米店頭販売開始（5月） 鹿児島県トカラ列島群発地震（6月） 日本電信電話から「NTT」に社名変更（7月） 猛暑日続出 群馬県 伊勢崎で史上最高気温 [41.8℃]観測（8月）	国際協同組合年・セミナー開催（7月） 自然災害共済・総支払限度額引上げ——地震：5,750億→6,000億円、風水害：850億→1,100 億円（4月） マイカー共済制度・掛金改定（4月） 第4期中期事業計画の策定（7月） 厚生労働省常例検査（7月） こくみん共済 coop「7才の交通安全プロジェクト」への参加（7月） 現職加入促進資料 組織手渡し＆自宅送付、加入内容により異なる申込書に変更（8月） 組合員Web 生命 火災 自然 交災「減口」受付開始（9月） 59期決算 利用分量割戻実施——火災共済38百万円・生命共済67百万円（10月） マイカー共済 団体割引率の改定 27.5%→22.5%（11月以降の契約より） Myセーフティ傷害 熱中症保障 新設および保険料改定（2025.12.1より）

環境・平和活動等の各種取り組みに対し、電通共済生協グループとしても取り組みの趣旨に賛同し、企画・支援を継続してきました。

環境一斉行動



平和四行動



沖縄戦後80年



広島ピースフォーラム



長崎平和フォーラム

2025年は2012年以来、2回目となる「国際協同組合年」にあたり、協同組合への国際的な期待や役割への理解を深める年となり、共済の意義をあらためて考えるセミナーを開催しました。

2025 国際協同組合年セミナー



1 主要な業務の状況を示す指標

●直近5事業年度における主な経営指標

(単位：千円)

区 分	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
経常収益	17,289,321	17,734,979	17,795,493	18,328,473	18,533,200
経常剰余金	2,023,842	2,270,212	2,336,116	2,037,854	2,252,172
当期剰余金	1,547,813	1,605,754	1,833,280	1,579,146	1,635,555
出資金	6,458,140	6,715,474	6,802,164	7,157,237	7,260,204
出資口数	64,581千口	67,154千口	68,021千口	71,572千口	72,602千口
純資産額	31,296,562	32,433,824	33,493,724	34,288,678	34,974,867
総資産額	43,957,857	45,518,072	47,020,843	47,886,320	49,116,455
責任準備金残高	9,644,385	9,692,079	10,003,843	10,098,310	10,405,756
有価証券残高	23,251,042	26,816,733	29,523,522	31,806,120	31,848,398
支払余力比率	1,908%	1,958%	2,055%	2,089%	1,821%
利用分量割戻金 (共済の種類)	141,699 火災共済	198,898 火災共済	136,742 火災共済	191,881 火災共済	37,647 火災共済
	599,661 生命共済	306,918 生命共済	630,209 生命共済	324,515 生命共済	66,762 生命共済
職員数	59人	64人	53人	58人	55人
保有契約高	6,589,535,610	6,423,082,980	6,290,044,220	6,134,858,230	5,975,393,570

② 直近の2事業年度における事業の指標

① 共済の種類ごとの新契約高

(単位：千円)

共済の種類	2023年度	2024年度
総合（慶弔）共済	2,318,100	2,508,300
火災共済	40,137,200	43,222,800
自然災害共済	16,739,870	20,172,560
生命共済	19,696,000	18,930,000
交通災害共済	10,955,000	10,282,000

② 共済の種類ごとの保有契約高と増加率

(単位：千円)

共済の種類	2023年度		2024年度	
		増加率		増加率
総合（慶弔）共済	59,744,700	△0.6%	59,615,400	△0.2%
火災共済	2,623,933,000	△1.5%	2,577,928,200	△1.7%
自然災害共済	828,498,530	△0.3%	826,456,970	△0.2%
生命共済	1,061,911,000	△3.6%	1,022,375,000	△3.7%
交通災害共済	1,560,771,000	△4.4%	1,489,018,000	△4.5%

③ 共済契約の種類ごとの保障機能別保有契約高

(単位：千円)

区 分		共済の種類	保有契約高	
			2023年度	2024年度
死亡保障	普通死亡	総合（慶弔）共済	59,744,700	59,615,400
		生命共済	1,061,911,000	1,022,375,000
	交通事故による災害死亡	交通災害共済	1,560,771,000	1,489,018,000
入院保障	交通事故による災害入院	交通災害共済	421,408,170	402,034,860

交通事故による場合を除いた災害死亡保障額は、普通死亡保障額と同額です
重度障害時の障害保障額は、普通死亡保障額と同額です

④ 共済の種類ごとの支払共済金の額

(単位：千円)

共済の種類	2023年度	2024年度
総合（慶弔）共済	726,480	706,130
火災共済	633,909	634,353
自然災害共済	660,001	304,239
生命共済	4,212,666	4,058,999
交通災害共済	268,016	310,081

⑤ 新契約平均共済金額および保有契約平均共済金額

(単位：千円)

共済の種類	2023年度		2024年度	
	新契約 平均共済金額	保有契約 平均共済金額	新契約 平均共済金額	保有契約 平均共済金額
総合（慶弔）共済	300	300	300	300
火災共済	16,885	18,407	16,707	18,472
自然災害共済	8,114	8,739	8,250	8,803
生命共済	4,257	6,074	3,946	5,930
交通災害共済	4,037	4,563	4,262	4,558

⑥ 支払余力比率の明細

	2023年度	2024年度
I. 支払余力総額(千円)	41,917,681	43,091,528
1. 純資産の部 合計額(出資金等) (剰余金の処分として支出する金額、評価・換算差額等、繰延資産を除く)	28,561,969	29,598,197
2. 価格変動準備金	172,759	198,042
3. 異常危険準備金	7,409,113	7,807,331
4. 一般貸倒引当金	—	—
5. その他有価証券評価差額	△629,262	△1,386,448
6. 土地の含み損益	—	—
7. 上記に準ずるものの額	6,403,101	6,874,407
II. リスクの合計額(千円) $\sqrt{(R_1 + R_6)^2 + (R_3 + R_4)^2} + R_2 + R_5$	4,013,155	4,733,709
R ₁ 一般共済リスク相当額	963,917	910,359
R ₂ 巨大災害リスク相当額	2,508,853	3,234,823
R ₃ 予定利率リスク相当額	—	—
R ₄ 資産運用リスク相当額	1,034,740	1,056,807
R ₅ 経営管理リスク相当額	90,150	104,040
R ₆ 第三分野共済の共済契約に係るリスク相当額	—	—
III. 支払余力比率(%) $\frac{I}{II \times 1/2} \times 100$	2,089%	1,821%

(注) 1 消費生活協同組合法施行規則および消費生活協同組合法施行規程にもとづいて算出しています。

(注) 2 生命共済事業と損害共済事業の両方を実施しているため、生命保険会社または損害保険会社のソルベンシーマージン比率と単純に比較できません。

IX

附
表

⑦ 再共済・再保険を引き受けた機関の数

	2023年度	2024年度
再共済引受機関数	3	3

⑧ 支払再共済掛金・支払再保険料の上位を占める5社の割合

	2023年度	2024年度
支払再共済掛金の 上位を占める5社の割合	100%	100%

⑨ 未収の再共済金・再保険金の額 (単位：千円)

	2023年度	2024年度
未収再共済金	80,953	61,277

③ 直近の2事業年度における財産の状況

① 貸借対照表（7月31日現在）

（単位：千円）

科 目	2023年度	2024年度	科 目	2023年度	2024年度
資産の部			負債の部		
1.現金及び預金	11,181,405	11,771,161	1.共済契約準備金	11,273,161	11,538,068
(1) 現金	61	213	(1) 支払備金	1,174,850	1,132,311
(2) 預貯金	11,181,343	11,770,947	(2) 未経過共済掛金	2,689,197	2,598,425
2.金銭の信託	—	—	(3) 異常危険準備金	7,409,113	7,807,330
3.有価証券	31,806,120	31,848,398	2.未払再共済勘定	223,065	244,238
(1) 国債	400,200	—	3.その他共済負債	710,569	647,853
(2) 地方債	18,936,940	19,058,590	(1) 未払共済金	91,552	53,829
(3) 社債	9,926,492	10,266,236	(2) その他の共済負債	619,017	594,023
(4) 株式	2,542,488	2,523,572	4.未払費用	273,024	302,108
4.再共済勘定	80,953	61,277	5.その他負債	715,682	954,491
5.その他共済資産	1,729	3,639	(1) 未払法人税等	406,535	634,084
(1) 未収共済掛金	1,729	3,639	(2) 未払消費税	15,148	14,552
(2) その他の共済資産	—	—	(3) 未払金	277,568	298,754
6.前払費用	4,595	3,320	(4) 預り金	5,851	5,830
7.その他資産	374,224	381,270	(5) その他負債	10,579	10,269
(1) 未収金	104,855	108,360	6.引当金	229,379	256,785
(2) 差入保証金	235,492	235,488	(1) 賞与引当金	21,900	22,800
(3) その他の資産	33,876	37,420	(2) 退職給付引当金	175,779	196,685
8.業務用固定資産	1,331,103	1,591,952	(3) 役員退職給与引当金	31,700	37,300
(1) 減価償却資産	689,640	750,253	7.価格変動準備金	172,759	198,042
(2) 減価償却累計額	△512,609	△568,597	負債合計	13,597,642	14,141,588
(3) 建設仮勘定	271,985	386,339	純資産の部		
(4) 無形固定資産	882,086	1,023,955	1.組合員資本	34,742,250	35,964,375
9.関係団体等出資金	1,060,710	1,060,710	(1) 出資金	7,157,237	7,260,204
(1) 関係団体出資金	833,710	833,710	(2) 剰余金	27,585,012	28,704,171
(2) 子会社等株式	227,000	227,000	①法定準備金	4,558,258	4,874,087
10.繰延税金資産	2,045,479	2,394,725	②任意積立金	21,190,281	21,881,768
			③当期末処分剰余金	1,836,472	1,948,315
			(うち当期剰余金)	(1,579,146)	(1,635,555)
			2.評価・換算差額等	△453,572	△989,508
			(1) その他有価証券評価差額金	△453,572	△989,508
資産合計	47,886,320	49,116,455	純資産合計	34,288,678	34,974,867
			負債・純資産合計	47,886,320	49,116,455

② 損益計算書 (8月1日～翌7月31日)

(単位：千円)

科 目	2023年度	2024年度	科 目	2023年度	2024年度
経常損益			3. 事業経費	3,964,070	4,189,277
経常収益	18,328,473	18,533,200	(1) 人件費	714,827	733,282
1. 共済掛金等収入	14,126,422	14,266,751	(2) 物件費	2,286,472	2,488,894
(1) 受入共済掛金	12,309,028	12,706,798	(3) 共済委託手数料	962,770	967,100
(2) 受入再共済金	989,129	730,119	経常剰余金	2,037,854	2,252,172
(3) 受入手数料	828,265	829,833	特別損益		
2. 共済契約準備金戻入額	3,902,791	3,933,234	特別利益	—	—
(1) 支払備金戻入額	1,145,920	1,174,850	特別損失	47,499	95,409
(2) 未経過共済掛金戻入	2,641,901	2,689,197	税引前当期剰余金	1,990,354	2,156,763
(3) 異常危険準備金戻入	114,969	69,186	法人税等	421,014	649,204
3. 資産運用収益	198,260	233,172	法人税等調整額	△ 9,806	△ 127,996
4. その他経常収益	100,998	100,041	当期剰余金	1,579,146	1,635,555
経常費用	16,290,618	16,281,027	当期首繰越剰余金	244,720	244,247
1. 共済金等支払額	8,300,359	7,893,610	任意積立金取崩額	12,605	68,512
(1) 支払共済金	6,501,073	6,013,804	当期末処分剰余金	1,836,472	1,948,315
(2) 支払再共済掛金	1,721,670	1,802,289			
(3) 支払返戻金	77,616	77,516			
2. 共済契約準備金繰入額	4,026,188	4,198,140			
(1) 支払備金繰入額	1,174,850	1,132,311			
(2) 未経過共済掛金繰入	2,689,197	2,598,425			
(3) 異常危険準備金繰入	162,140	467,402			

③ 剰余金処分計算書

(単位：千円)

区 分	2023年度	2024年度
1. 当期末処分剰余金	1,836,472	1,948,315
2. 任意積立金取崩額	12,605	68,512
3. 剰余金処分額	1,592,225	1,709,521
(1) 法定準備金	315,829	327,111
(2) 利用分量割戻金 (火災共済)	191,881	37,647
(生命共済)	324,515	66,762
(3) 任意積立金 (共済リスク・経営諸リスク対応積立金)	100,000	200,000
(システム開発積立金)	300,000	50,000
(見舞金事業積立金)	150,000	100,000
(税効果調整積立金)	10,000	128,000
(資産運用リスク積立金)	200,000	800,000
4. 次期繰越剰余金	244,247	238,793

④ 有価証券の帳簿価額、時価および評価損益

(単位：千円)

区 分	2023年度			2024年度		
	帳簿価額	時 価	評価損益	帳簿価額	時 価	評価損益
公社債	30,501,339	29,263,632	△ 1,237,707	31,300,803	29,324,826	△ 1,975,977
国債	399,882	400,200	317	—	—	—
地方債	19,500,016	18,936,940	△ 563,076	20,099,906	19,058,590	△ 1,041,316
社債	10,601,439	9,926,492	△ 674,947	11,200,897	10,266,236	△ 934,661
株式	1,934,043	2,542,488	608,444	1,934,043	2,523,572	589,529
合 計	32,435,382	31,806,120	△ 629,262	33,234,846	31,848,398	△ 1,386,448

「金融商品に関する会計基準」および「金融商品の時価等の開示に関する摘要指針」を適用しています

IX

附
表

④ 経理に関する指標

① 責任準備金の積立方式及び積立率

未経過共済掛金および異常危険準備金について、事業規約に定められた方法により計上しております。

② 引当金明細

(単位：千円)

区 分	2023年度				2024年度			
	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
賞与引当金	20,500	21,900	20,500	21,900	21,900	22,800	21,900	22,800
退職給付引当金	180,627	11,595	16,443	175,779	175,779	33,005	12,098	196,685
役員退職給与引当金	37,812	5,887	12,000	31,700	31,700	5,600	—	37,300
合 計	238,939	39,383	48,943	229,379	229,379	61,405	33,998	256,785

③ 法定準備金および任意積立金等明細

(単位：千円)

区 分	2023年度				2024年度			
	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
法定準備金	4,191,602	366,656	—	4,558,258	4,558,258	315,829	—	4,874,087
任意積立金	20,481,886	721,000	12,605	21,190,281	21,190,281	760,000	68,512	21,881,768
共済リスク・経営 諸リスク対応積立金	11,900,000	200,000	—	12,100,000	12,100,000	100,000	—	12,200,000
システム開発積立金	2,900,000	200,000	—	3,100,000	3,100,000	300,000	—	3,400,000
税効果調整積立金	1,789,000	71,000	—	1,860,000	1,860,000	10,000	—	1,870,000
資産運用リスク 積立金	1,350,000	150,000	—	1,500,000	1,500,000	200,000	—	1,700,000
災害対策積立金	100,000	—	—	100,000	100,000	—	—	100,000
見舞金事業積立金	2,442,886	100,000	12,605	2,530,281	2,530,281	150,000	68,512	2,611,768
合 計	31,475,654	1,853,206	423,083	32,905,777	32,905,777	1,591,425	481,142	34,016,060

④ 事業経費の明細

(単位：千円)

区 分	2023年度	2024年度
人件費	714,827	733,282
物件費	2,286,472	2,488,894
共済委託手数料	962,770	967,100
合 計	3,964,070	4,189,277

⑤ 資産運用に関する指標

① 主要資産の平均残高および運用利回り

(単位：千円)

区 分	2023年度		2024年度	
	平均残高	運用利回り	平均残高	運用利回り
現金及び預金	14,068,509	0.01%	12,624,168	0.02%
有価証券	30,020,675	0.66%	32,712,262	0.70%
公社債	28,086,631	0.42%	30,778,219	0.48%
株式	1,934,043	4.15%	1,934,043	4.25%
合 計	44,089,184	0.45%	45,336,431	0.51%

② 主要資産の構成および増減

(単位：千円)

区 分	2023年度			2024年度		
	残 高	増減額	構成比	残 高	増減額	構成比
現金及び預金	11,181,405	△1,868,598	26.0%	11,771,161	589,755	27.0%
有価証券	31,806,120	2,282,597	74.0%	31,848,398	42,278	73.0%
公社債	29,263,632	2,259,932	68.1%	29,324,826	61,194	67.2%
株式	2,542,488	22,665	5.9%	2,523,572	△18,915	5.8%
合 計	42,987,525	413,998	100.0%	43,619,559	632,034	100.0%

③ 資産運用収益明細

(単位：千円)

区 分	2023年度	2024年度
利息及び配当金収入	198,260	233,172
合 計	198,260	233,172

④ 利息および配当金収入等明細

(単位：千円)

区 分	2023年度	2024年度
預金利息	705	2,470
有価証券利息配当金	197,555	230,702
公社債利息	117,289	148,514
配当金	80,266	82,188
合 計	198,260	233,172

⑤ 有価証券の種類別残高

(単位：千円)

区 分	2023年度		2024年度	
	金 額	構成比	金 額	構成比
公社債	29,263,632	92.0%	29,324,826	92.0%
国債	400,200	1.3%	—	—
地方債	18,936,940	59.5%	19,058,590	59.8%
社債	9,926,492	31.2%	10,266,236	32.2%
株式	2,542,488	8.0%	2,523,572	7.9%
合 計	31,806,120	100.0%	31,848,398	100.0%

⑥ 有価証券の残存期間別残高

(単位：千円)

区 分	2023年度						
	1年以下	1年超3年以下	3年超5年以下	5年超7年以下	7年超10年以下	10年超	期間の定めのないもの
公社債	2,201,120	496,710	6,016,670	5,844,220	11,605,440	3,099,472	—
国債	400,200	—	—	—	—	—	—
地方債	1,800,920	—	3,852,620	3,740,140	8,925,010	618,250	—
社債	—	496,710	2,164,050	2,104,080	2,680,430	2,481,222	—
株式	—	—	—	—	—	—	2,542,488
合 計	2,201,120	496,710	6,016,670	5,844,220	11,605,440	3,099,472	2,542,488

区 分	2024年度						
	1年以下	1年超3年以下	3年超5年以下	5年超7年以下	7年超10年以下	10年超	期間の定めのないもの
公社債	199,300	4,014,746	4,155,330	8,026,770	9,998,720	2,929,960	2,523,572
国債	—	—	—	—	—	—	—
地方債	—	2,446,430	1,945,790	6,257,980	7,825,690	582,700	—
社債	199,300	1,568,316	2,209,540	1,768,790	2,173,030	2,347,260	—
株式	—	—	—	—	—	—	2,523,572
合 計	199,300	4,014,746	4,155,330	8,026,770	9,998,720	2,929,960	2,523,572

⑦ 業種別保有株式の額

(単位：千円)

区 分	2023年度	2024年度
運輸・情報通信業	2,542,488	2,523,572
情報・通信業	2,542,488	2,523,572
合 計	2,542,488	2,523,572

6 その他の指標

●業務用固定資産の明細

(単位：千円)

資産の種類	2023年度					
	期 帳 簿 価 格	当 増 加 額	当 減 少 額	当 償 却 額	期 帳 簿 価 格	当 期 末 償 却 累 計 額
減価償却資産	199,896	54,546	3,318	74,094	177,030	512,609
建物	34,865	—	—	2,540	32,325	28,152
建物付属設備	26,777	—	—	5,354	21,422	98,157
器具備品	138,254	54,546	3,318	66,199	123,282	386,299
建設仮勘定	134,240	627,337	489,591	—	271,985	
無形固定資産	695,559	459,387	—	272,860	882,086	
電話加入権	2,084	—	—	—	2,084	
ソフトウェア	693,475	459,387	—	272,860	880,002	
合 計	1,029,696	1,141,271	492,910	346,954	1,331,103	512,609

資産の種類	2024年度					
	期 帳 簿 価 格	当 増 加 額	当 減 少 額	当 償 却 額	期 帳 簿 価 格	当 期 末 償 却 累 計 額
減価償却資産	177,030	65,191	0	60,565	181,656	568,597
建物	32,325	—	—	2,540	29,785	30,692
建物付属設備	21,422	—	—	5,354	16,068	103,512
器具備品	123,282	65,191	0	52,671	135,802	434,392
建設仮勘定	271,985	631,512	517,158	—	386,339	
無形固定資産	882,086	517,158	—	375,289	1,023,955	
電話加入権	2,084	—	—	—	2,084	
ソフトウェア	880,002	517,158	—	375,289	1,021,871	
合 計	1,331,103	1,213,863	517,158	435,855	1,591,952	568,597

IX

附
表

消費生活協同組合法施行規則にもとづく索引

消費生活協同組合法施行規則 第209条関係

1 組合の概況及び組織に関する次に掲げる事項

- イ 業務運営の組織 ……………19
- ロ 役員の氏名及び役職名 ……………20
- ハ 事務所の名称及び所在地 ……………2

2 組合の主要な業務の内容 ……………2、21～24

3 組合の主要な業務に関する次に掲げる事項

- イ 直近の事業年度における事業の概況 ……………4～12
- ロ 直近の五事業年度における主要な業務の状況を示す指標として次に掲げる事項 ……………35
 - (1) 経常収益
 - (2) 経常剰余金又は経常損失金
 - (3) 当期剰余金又は当期損失金
 - (4) 出資金及び出資口数
 - (5) 純資産額
 - (6) 総資産額
 - (7) 責任準備金残高
 - (8) 貸付金残高…〈該当なし〉
 - (9) 有価証券残高
 - (10) 支払余力比率
 - (11) 法第52条第2項の区分ごとの剰余金の配当の金額
 - (12) 職員数
 - (13) 保有契約高又は正味収入共済掛金の額
- ハ 直近の二事業年度における事業の状況を示す指標として別表第三に定める記載事項 ……………36～43

[別表第三]

●主要な業務の状況を示す指標

- 一 共済の種類ごとの新契約高及び保有契約高又は元受共済掛金 ……………36
- 二 共済契約の種類ごとの保障機能別保有契約高 ……………36
- 三 共済の種類ごとの支払共済金の額 ……………36

●共済契約に関する指標

- 一 共済の種類ごとの保有契約増加率 ……………36
- 二 新契約平均共済金額及び保有契約平均共済金額 ……………36
- 三 解約失効率…〈該当なし〉
- 四 月払契約の新契約平均共済掛金…〈該当なし〉
- 五 契約者割戻しの状況…〈該当なし〉
- 六 再共済又は再保険を引き受けた主要な者の数 ……………37
- 七 上位5社に対する支払再共済掛金又は支払再保険料の割合 ……………37
- 八 格付機関による格付に基づく区分ごとの支払再保険料の割合…〈該当なし〉
- 九 未収再共済金又は再保険金の額 ……………37

●経理に関する指標

- 一 責任準備金の積立方式及び積立率 ……………40
- 二 共済の特性ごとの契約者割戻準備金明細…〈該当なし〉
- 三 区分ごとの引当金明細 ……………40
- 四 区分ごとの法定準備金及び任意積立金明細 ……………40
- 五 事業経費の明細 ……………40

●資産運用に関する指標

- 一 主要資産の区分ごと平均残高 ……………41
- 二 主要資産の区分ごと構成及び増減 ……………41
- 三 主要資産の区分ごと運用利回り ……………41
- 四 区分ごとの資産運用収益明細 ……………41
- 五 区分ごとの資産運用費用明細…〈該当なし〉
- 六 利息及び配当金収入等明細 ……………41
- 七 有価証券の種類別残高 ……………42

- 八 有価証券の種類別の残存期間別残高 ……………42
- 九 業種別保有株式の額 ……………42
- 十 共済契約貸付及び業種別の貸付金残高並びに当該貸付金残高の合計に対する割合…〈該当なし〉
- 十一 使途別の貸付金残高…〈該当なし〉
- 十二 担保の種類別貸付金残高…〈該当なし〉
- 十三 区分ごとの海外投資残高…〈該当なし〉
- 十四 区分ごとの海外投資の地域別構成…〈該当なし〉
- 十五 海外投資運用利回り…〈該当なし〉
- その他の指標
- 業務用固定資産残高 ……………43

4 契約年度別責任準備金残高及び予定利率…〈該当なし〉

5 組合の業務の運営に関する次に掲げる事項

- イ リスク管理の体制 ……………13
- ロ 法令遵守の体制 ……………14～17

6 組合の直近の二事業年度における財産の状況に関する次に掲げる事項

- イ 貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書又は損失金処理計算書 ……………38、39
- ロ 貸付金のうち次に掲げるものの額及びその合計額 …〈該当なし〉

- (1) 破綻先債権に該当する貸付金
- (2) 延滞債権に該当する貸付金
- (3) 三月以上延滞債権に該当する貸付金
- (4) 貸付条件緩和債権に該当する貸付金

- ハ 債権について、債務者の財政状態及び経営成績等を基礎として次に掲げるものに区分することにより得られる各々に関し貸借対照表に計上された金額…〈該当なし〉

- (1) 破産更生債権及びこれらに準ずる債権
- (2) 危険債権
- (3) 要管理債権及び条件緩和貸付金
- (4) 正常債権

- 二 共済金等の支払能力の充実の状況 ……………37

- ホ 次に掲げるものに関する取得価額又は契約価額、時価及び評価損益 ……………39

- (1) 有価証券
- (2) 金銭の信託…〈該当なし〉
- (3) デリバティブ取引…〈該当なし〉

- ヘ 貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額…〈該当なし〉

- ト 貸付金償却の額…〈該当なし〉

消費生活協同組合法施行規則 第211条関係

1 組合及びその子会社等の主要な事業の内容及び組織の構成

……………21～26

2 組合の子会社等に関する次に掲げる事項 ……………26、27

- イ 名称
- ロ 主たる営業所又は事務所の所在地
- ハ 資本金又は出資金
- 二 事業の内容
- ホ 設立年月日
- ヘ 組合が有する子会社等の議決権の総株主、総社員又は総出資者の議決権に占める割合
- ト 組合の一の子会社等以外の子会社等が有する当該一の子会社等の議決権の総株主、総社員又は総出資者の議決権に占める割合

ファクトブック 2025

2025年12月

電気通信産業労働者共済生活協同組合

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2丁目101番地ワテラストワー

<https://www.dentsu-kyosai.or.jp/>





発行／2025年12月
東京都千代田区神田淡路町2丁目101番地ワテラストワー
TEL:03-6810-6788(代表)

